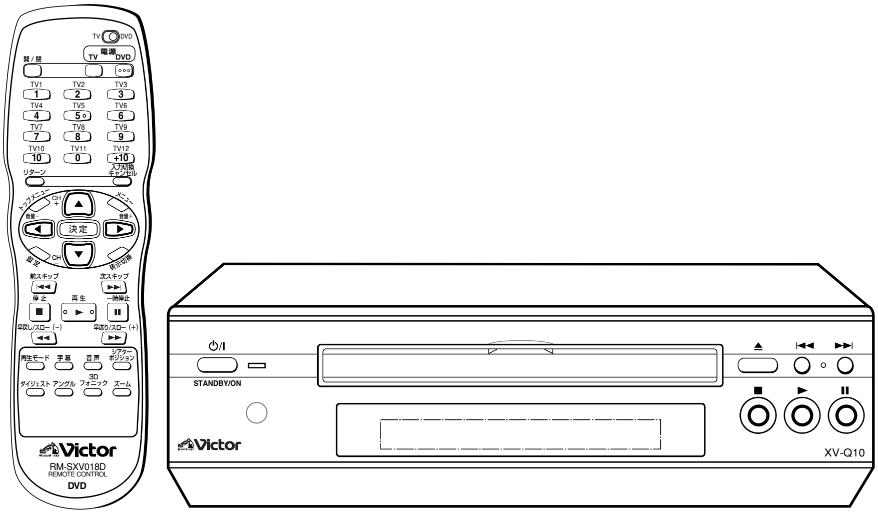
Victor

取扱説明書

DVDプレーヤー

型名 XV-Q10-S/B/N



お買い上げありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 3 ～ 5 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LET0202-003C

もくじ

お使いになる前に　ページ

予備知識　ページ

準備する　ページ

とりあえず、カンタン操作　ページ

いろいろな再生のしかた　ページ

MP3ディスクの再生　ページ

いろいろな設定をする　ページ

ご参考に　ページ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

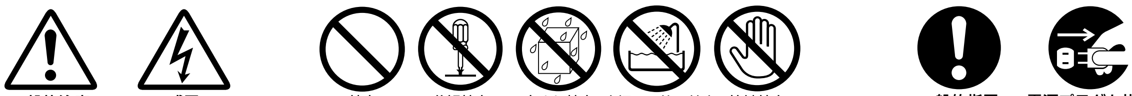
- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号　行為を禁止する記号　行為を指示する記号

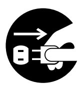


一般的注意　感電　禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　水場での使用禁止　接触禁止　一般的指示　電源プラグを抜く

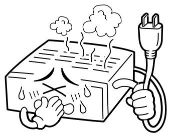
⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき



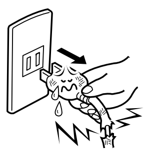
電源プラグを抜く



- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）



電源プラグを抜く



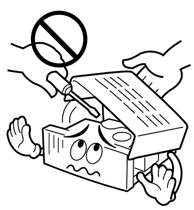
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止

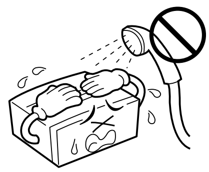


風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

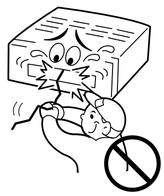


水場での使用禁止



本機の中に物を入れない。

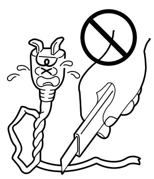
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

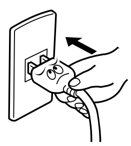
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。





⚠警告

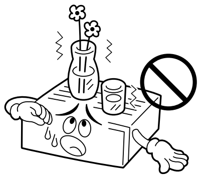
電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。



本機の上に水の入ったものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。



接触禁止



交流100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This unit is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。





⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

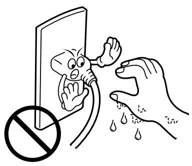


ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



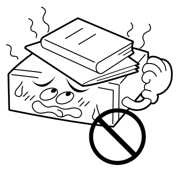
ぬれ手禁止



通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから 10㎝ 以上離す

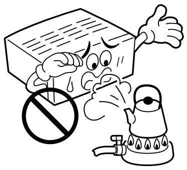


⚠注意

置き場所に注意する。

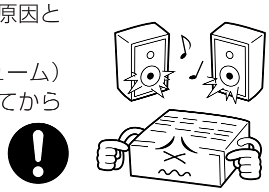
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



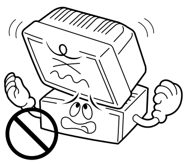
はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。



本機の上に重い物を置かない。

重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



ディスク挿入時に、手を挟まれないようにする。

けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。





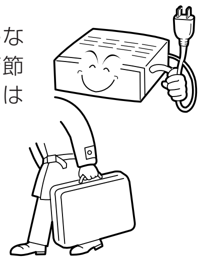
手を挟まれないよう注意

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。

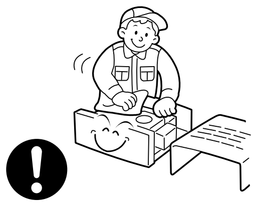


電源プラグを抜く



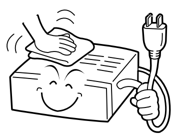
3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

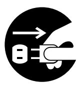
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。



お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

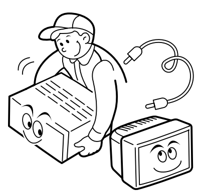




電源プラグを抜く

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長時間使わないときは、電池を取り出しておく



もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

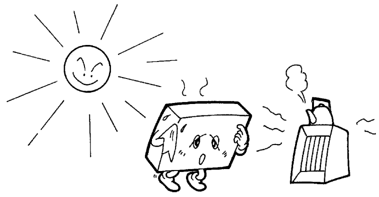
使用上のご注意

本システムの置き場所について

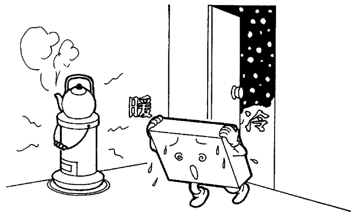
・ 本機は5℃から35℃までの温度で使用できるように設計されています。これを超える温度の環境で使用すると、誤作動したり、故障の原因となります。特に、次のような環境は避けてください。



・湿気やほこりの多い所



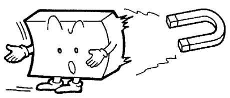
・直射日光が当たる所や暖房器のそば



・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間



・極端に寒い所



・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば

露がついたら
次のような場合、本機のレンズに露(水滴)が付いて**DVD**や**CD**などが正しく演奏できない場合があります。
・暖房を始めた直後
・湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
・冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
電源を入れたまま、1～2時間待ってからお使いください。

本体の掃除

● パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとから**からぶき**してください。

ご注意

● シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

商標と著作権

● 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992 − 1997 年ドルビーラボラトリーズ社。不許複製。

● 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
、DTS および DTS Digital Surround は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
著作権 1996 年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。

● 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。

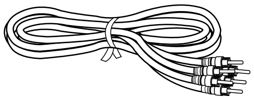
● ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。

● DVD ビデオのロゴは商標です。

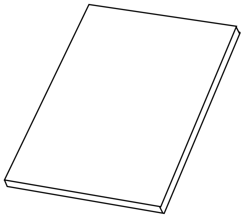
付属品

本機には、次の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。

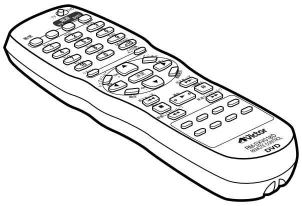
・オーディオ / ビデオコード（1 本）



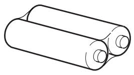
・取扱説明書（1 冊）



・リモコン : RM-SXV018D（1 個）

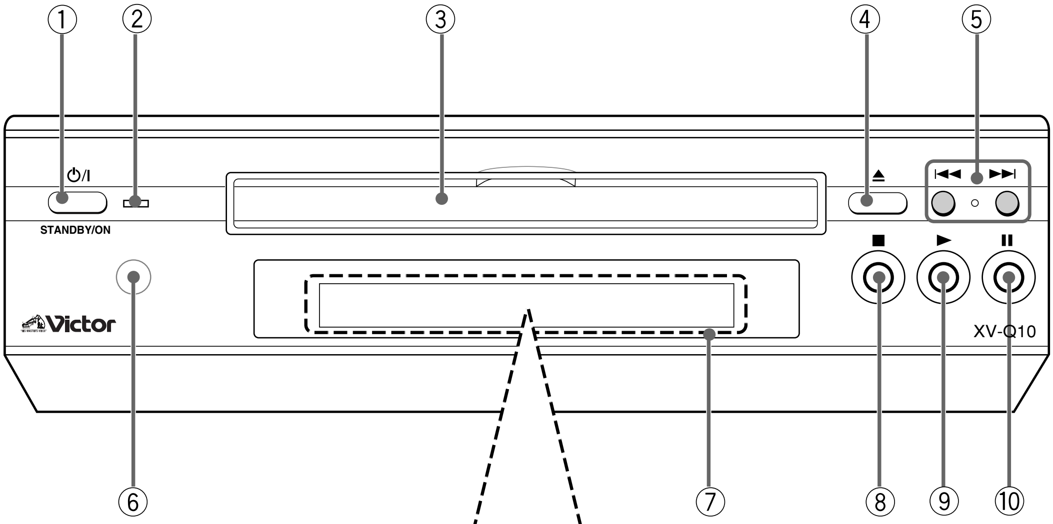


・単 3 形乾電池（2 本）…リモコン動作確認用

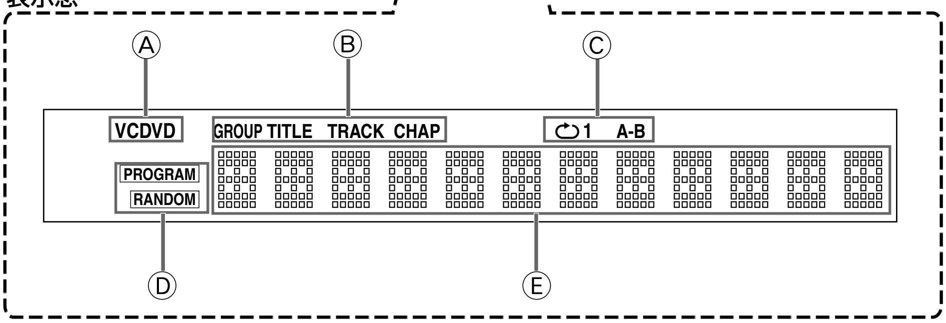


各部の名前

本体前面



表示窓



名称	参照ページ	名称	参照ページ
①⏻/I（電源）ボタン	18	⑥リモコン受光部	16
②スタンバイランプ	18	⑦表示窓	
③ディスクトレイ	18	⑧■（停止）ボタン	19
④⏏（開/閉）ボタン	18	⑨►（再生）ボタン	18
⑤⏮（前スキップ）、⏭（次スキップ）ボタン	20	⑩❚❚（一時停止）ボタン	19

表示窓

Ⓐディスクタイプ表示

選択しているディスクのタイプを表示します。DVDビデオのときは「DVD」、ビデオCDのときは「VCD」が点灯します。オーディオCD、MP3のときは「CD」が点灯します。

Ⓑ GROUP（グループ）、TITLE（タイトル）、TRACK（トラック）、CHAP（チャプター）表示

選択中のグループ番号（MP3ディスク）、タイトルやチャプターの番号（DVDビデオ）、トラック番号（オーディオCD／ビデオCD、MP3ディスク）を表示します。

Ⓒリピートモード表示 ……… 32 33

現在のリピートモードを表示します。

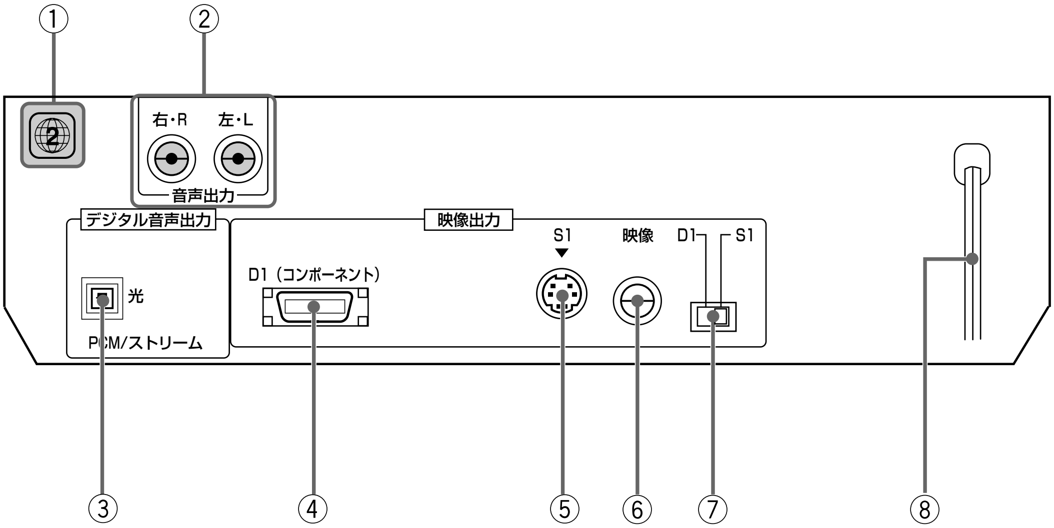
Ⓓ PROGRAM（プログラム）/RANDOM（ランダム）表示 ……… 30 31

プログラム再生モードやランダム再生モード中、それぞれの表示が点灯します。

Ⓔマルチ情報ウィンドウ

グループ／タイトル／トラック／チャプター番号、時間、状態などを表示します。

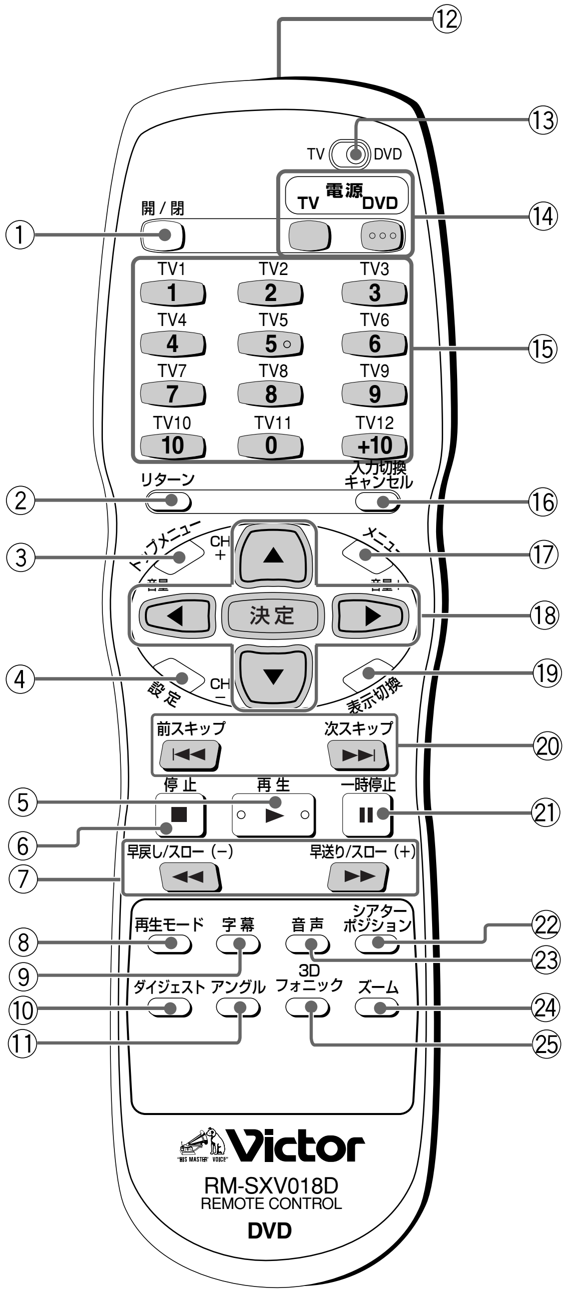
本体背面



名称	参照ページ	名称	参照ページ
①リージョン番号表示	12	⑤S1映像出力端子	13
②アナログ音声出力端子	13～15	⑥映像出力（コンポジット）端子	13
③デジタル音声出力端子	15	⑦D1／S1切換スイッチ	13 14
④D1（コンポーネント）端子	14	⑧電源コード	15

各部の名前（つづき）

リモコン



名称	参照ページ
①開／閉ボタン	18
②リターンボタン	23
③トップメニューボタン	22
④設定ボタン	46
⑤▶ 再生ボタン	18 40
⑥■ 停止ボタン	19 40
⑦◀◀ 早戻し、▶▶ 早送りボタン	20 40
スロー（＋）、スロー（－）ボタン	29
⑧再生モードボタン	25 26 30 32 33
⑨字幕ボタン	34
⑩ダイジェストボタン	27
⑪アングルボタン	36
⑫リモコン信号送信部	16
⑬TV／DVD切換スイッチ	17 18
⑭TV電源ボタン	17
DVD電源ボタン	18
⑮数字ボタン	17 23～26 30 41 42 51～54
⑯入力切換／キャンセルボタン	17
⑰メニューボタン	22
⑱カーソル（▲／▼／◀／▶）ボタン	22
CH＋、CH－ボタン	17
音量＋、音量－ボタン	17
決定ボタン	22
⑲表示切換ボタン	39
⑳I◀◀ 前スキップ、▶▶I 次スキップボタン	20 24 40
㉑II 一時停止ボタン	19 28 40
㉒シアターポジションボタン	37
㉓音声ボタン	35
㉔ズームボタン	29
㉕3Dフォニックボタン	38

操作上の予備知識

本機を操作する上で、あらかじめ知っておいていただきたいことがらを説明します。（☞で示されたページは関連する説明のあるページです）

オンスクリーン画面

本機は状況に応じてテレビ画面上にさまざまな画面を表示します。これらの表示画面を使って各種設定や機能選択をします。また表示のみの画面もあります。

オープニング画面

本機の電源を「入」にした直後など、状況によって自動的に表示されます。

オープニング画面



状況に応じて、本機の状態を示す以下のメッセージが下部に表示されます。

・NOW READING（ナウ リーディング）：
ディスク情報（TOC情報）を読み取り中です。

・リージョン コード エラー！：
リージョン番号（リージョンコード）が違うため、このDVDビデオを再生できません。

・OPEN（オープン）：ディスクトレイが開きます。

・CLOSE（クローズ）：ディスクトレイが閉まります。

画面の焼き付きを防ぐ[スクリーンセーバー]

長い時間、静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するために本機は、スクリーンセーバー機能を備えています。停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから5分以上何も操作しないと、画面が暗くなるか、スクリーンセーバー画面が表示されます。また、スクリーンセーバー機能はいずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の画面に戻ります。

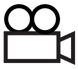


ご注意

オーディオCD再生中、またはオーディオCD再生を停止した後は、スクリーンセーバー機能が働きません。

再生中に画面に出る表示

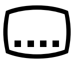
DVDビデオを再生していると、再生している映像に重ねてマークが表示されることがあります（オンスクリーンガイド）。それぞれ次のような意味があります。



マルチアングルで収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、［アングル］を切り換えることができます。
☞ 36 ページ



複数の音声が収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、［音声言語］を切り換えることができます。
☞ 35 ページ



複数の字幕が収録されたところの頭で表示されます。再生中にこの表示が出たら、［字幕言語］を切り換えることができます。
☞ 34 ページ

これらを表示しないようにすることもできます。
オンスクリーンガイド☞ 50 ページ

操作中に⃠が表示されたら…

操作をしたときに⃠が表示されたら、その操作は無効です。ディスクによっては⃠が表示されなくても操作が無効になることもあります。
ディスクによって早送り、早戻し、スローモーション再生などいくつかの操作ができないように収録されたディスクがあります。この場合も操作が無効になります。

再生できるディスク

本機で再生できるディスクは以下の通りです。
音楽用のCD、およびMP3フォーマットで記録されたCD-RおよびCD-RWディスクも再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合や読み取りに時間がかかることがあります。
また、ファイナライズ処理をしていないディスクは再生できません。

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ (DVD VIDEO)	音声＋映像	12センチ
		8センチ
ビデオCD (Video CD / COMPACT disc DIGITAL VIDEO)	音声＋映像	12センチ
		8センチ
オーディオCD (COMPACT disc DIGITAL AUDIO)	音声	12センチ
		8センチ

再生できないディスク

- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVD-R
- DVD-RW
- CD-ROM
- DVDオーディオ
- フォトCD

これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。
CD-G、CD-EXTRA、CD TEXTの場合、音声のみ再生できます。

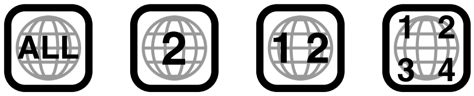
お知らせ

- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- 2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換わるとき、映像や音声が途切れることがありますが、これは故障ではありません。

リージョン番号(ローカル番号)について

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号がついています。この番号がDVDビデオプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。
本機のリージョン番号は「2」ですので、DVDビデオのディスク上に「ALL」または「2」が表示されているディスクに限り再生することができます。

本機で再生できるDVDビデオの表示例



テレビ方式について

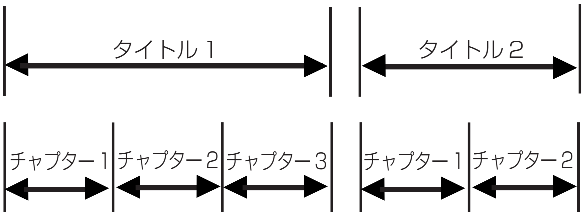
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。ヨーロッパなどのテレビ方式（PAL（パル）、SECAM（セカム））用のディスクは再生できません。

ディスクの構成

DVDビデオ

一般的にDVDソフトは、タイトルと呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付いていて、お望みのタイトルがすぐに選べるようになっています。またタイトルはさらにチャプター（章）という小さな項目によって構成されています。それぞれのチャプターには番号（チャプター番号）が付いていて、お望みのチャプターがすぐに選べるようになっています。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

DVD映画作品の構成の例



オーディオCD/ビデオCD

一般的にオーディオCDは、トラックという呼び名で1曲ごとに区切られ、番号（トラック番号）が付いています。たとえば2曲目を指す場合には、「トラック2」となります。ビデオCDのカラオケなども同様です。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

オーディオCD、ビデオCDの例



接続する

本機をお使いいただくにはテレビやモニターと接続する必要があります。また、デジタル端子付きの機器やドルビーデジタルデコーダー内蔵のアンプと接続すると、より本格的な音声がお楽しみいただけます。

説明上の煩雑さを避けるために、以下の説明では本機の映像出力をテレビに接続するものとして説明しますが、テレビの代わりにモニターやプロジェクターに接続することもできます。

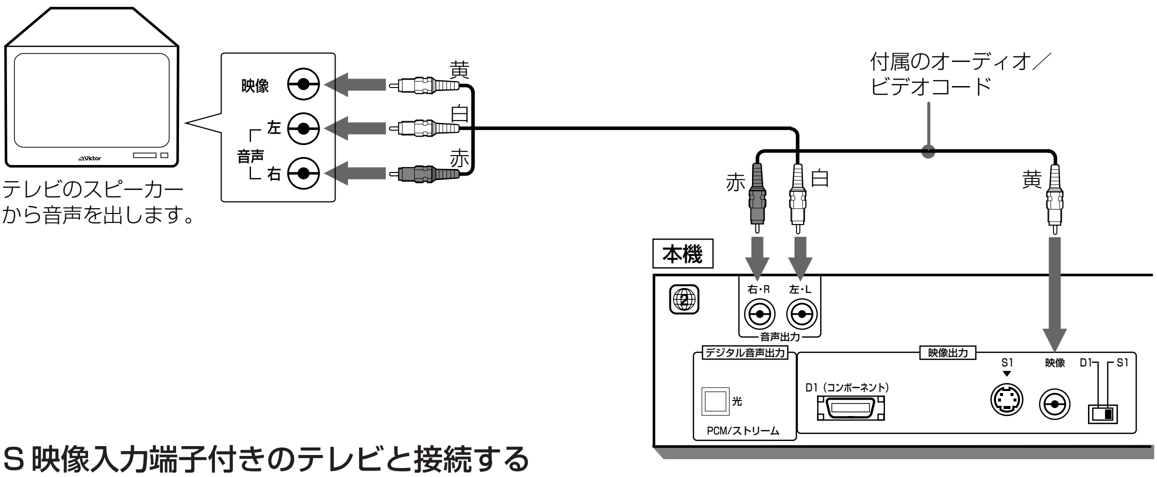
接続上の注意

- すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 各プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音や音が出ないなどの原因となります。
- 接続間違いを防ぐため、接続コード（ピンコード）の黄色いプラグは映像端子へ、白いプラグは音声の左端子へ、赤いプラグは右端子につなぎます。
- 本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、再生時に画像が乱れることがあります。
- また、ビデオデッキ内蔵テレビ（テレビデオ）につないだ場合も、再生時に画像が乱れることがあります。

テレビと接続する

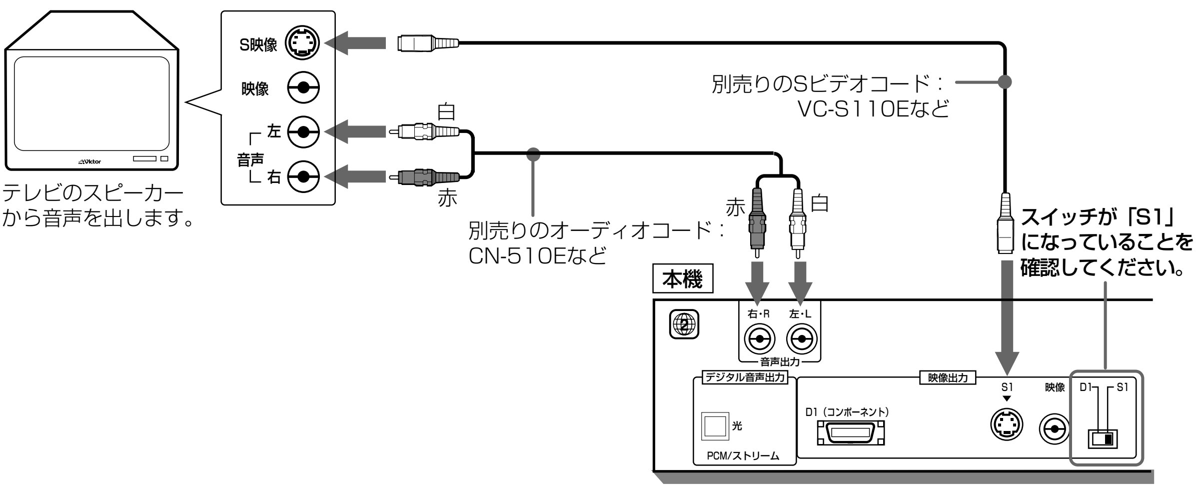
本機はテレビと接続するだけでお使いいただけます。より本格的な音声をお楽しみいただくには、オーディオ専用機器と接続してください。☞ 15 ページ

映像入力端子のみのテレビと接続する



S 映像入力端子付きのテレビと接続する

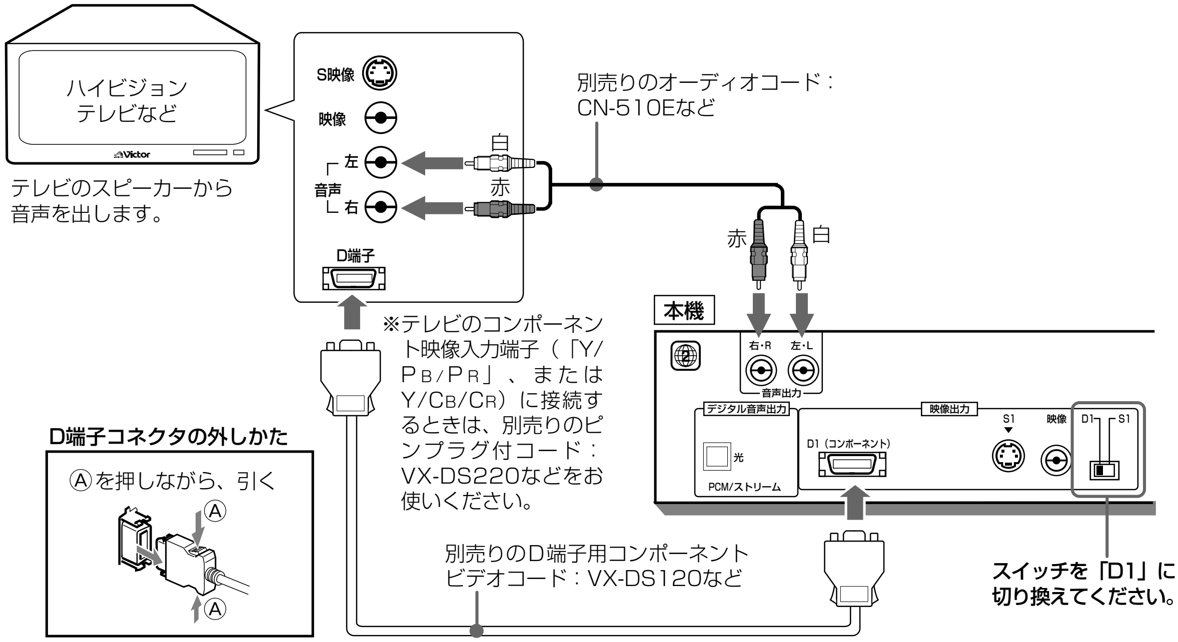
テレビにS映像入力端子（用語解説 ☞ 64 ページ）があるときにつなぎます。より質の高い画像が得られます。



接続する（つづき）

D 端子／コンポーネント映像入力端子付きのテレビと接続する

テレビにD1 ～D4 入力端子、またはコンポーネント映像入力端子（用語解説 ☞ 64 ページ）があるときにつなぎます。映像端子や、S 端子よりも高画質の映像をお楽しみいただけます。



- アンプにつないだスピーカーから音を出すときは、次ページ「アンプやレシーバーと接続する」をご覧ください。

映像出力設定を変える(D1端子を使うとき)

本機ではD1端子とS1映像端子を同時に使うことができません。お買い上げの状態ではS1映像端子が使える設定になっています(この状態でD 1 端子を使うと画像が青い状態で表示されます)。D 1 端子を使うときは、以下の手順で映像出力設定を変更してください。

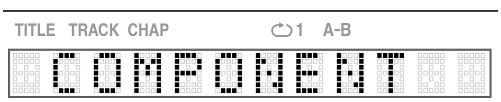
ご注意

D1 端子 ⟷ S1 映像端子の出力設定を変更するときには、必ず以下の状態で行ってください。
- **本機の電源を「切」(スタンバイ)にする。**
  電源が「切」(スタンバイ)のときは、本体前面のスタンバイランプが赤く点灯します。電源が入っているときは、⏻/I(電源)ボタンを押して電源を切ります。
- **ディスクが入っているときは、ディスクを取り出す。**

1 本体背面のD1／S1切換スイッチを「D1」に切り換える

2 ⏻/I(電源) ボタンを押して、再度電源を入れる

2 ～ 3 秒後、本体の表示窓に「COMPONENT」と表示されます。これで D1 端子が使える設定になります。



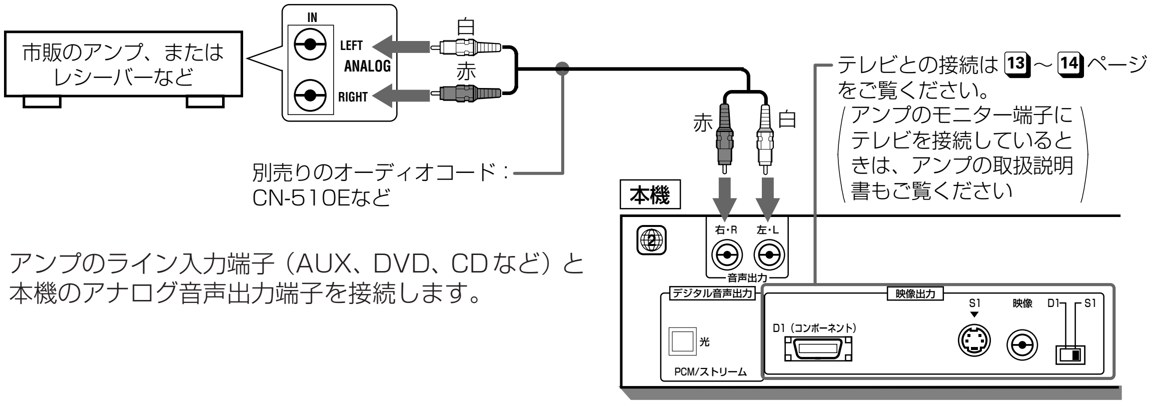
- **S1 映像端子が使える設定に戻すには**
  1. **⏻/I(電源)ボタンを押して、本機の電源を切る**
  2. **本体背面の D1 ／ S1 切換スイッチを 「S1」に切り換える**
  3. **⏻/I(電源)ボタンを押して、再度電源を入れる**
     2～3秒後、本体の表示窓に「S-VIDEO」と表示されます。これでS1映像端子が使える設定に戻ります。

お知らせ

以下の方法でも映像出力設定の切り換えができますが、電源を切って行う方法をお勧めします。
- 本体に電源が入っているときでも、ディスクが入っていない、またはディスクが停止中に、本体背面のD1／S1切換スイッチを切り換えることで設定を切り換えることができます。どちらに設定されているかは、ディスプレイに表示されます。
- ディスク再生中に本体背面のD 1 ／S 1 切換スイッチを切り換えても設定を変えることはできません。再生中にD1／S1切換スイッチを切り換えた後、ディスクの再生を停止すると、表示窓に現在の設定が表示され、設定が切り換わります。

アンプやレシーバーと接続する

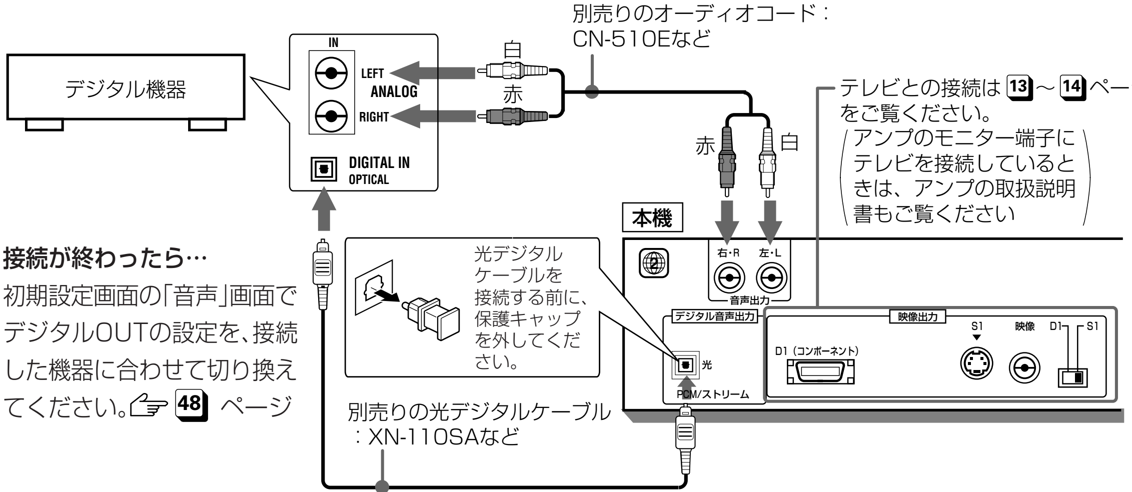
本機とアンプやレシーバーを接続することで、より本格的なサウンドがお楽しみいただけます。



アンプのライン入力端子（AUX、DVD、CDなど）と本機のアナログ音声出力端子を接続します。

デジタル入力端子付きの機器と接続する

本機のデジタル音声出力端子をアンプなどのデジタル入力端子と接続することにより、本機で再生したディスクのオーディオ信号をデジタルのまま外部機器へ送ることができます。また、ドルビーデジタルやDTS（用語解説 ☞ 64 ページ）デコーダー（あるいはデコーダー内蔵アンプ）と接続することにより、高音質のサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。



接続が終わったら…

初期設定画面の「音声」画面でデジタルOUTの設定を、接続した機器に合わせて切り換えてください。☞ 48 ページ

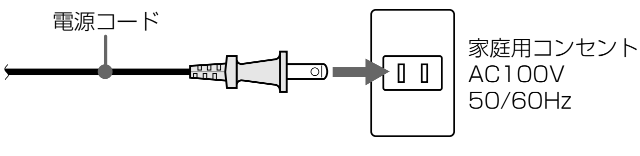
お知らせ

- DVD の音声収録方式によっては、デジタル音声出力端子から信号が出力されない場合があります（☞ 48 ページ「デジタルOUT」）。デジタル音声出力端子を使って接続する場合、アナログ音声出力端子の接続も同時に行うことをお勧めします。
- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して本機の初期設定画面の「音声」にあるコンプレッション設定、およびダウンミックス設定は無効となります。

電源コードをコンセントに差し込む

すべてのオーディオ／ビデオの接続が終わったら、本機の電源コードを家庭用コンセント（交流 100V）にしっかりと差し込みます。

電源コードを接続すると、本体のスタンバイランプが点灯します。

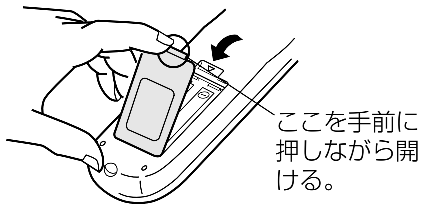


リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れる

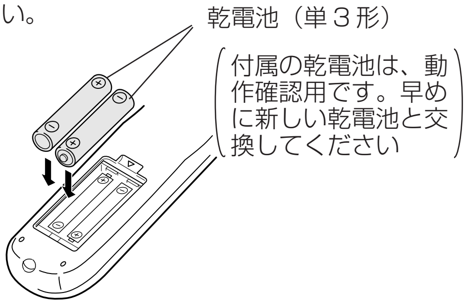
リモコンの背面に電池を入れる場所があります。

1 裏ブタを開ける

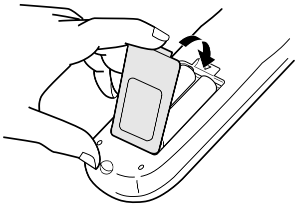


2 乾電池（単３形）２本を入れる

＋／−の向きがリモコン内部に表示されていますので、それに合わせ正しい向きに入れてください。



3 裏ブタを閉める

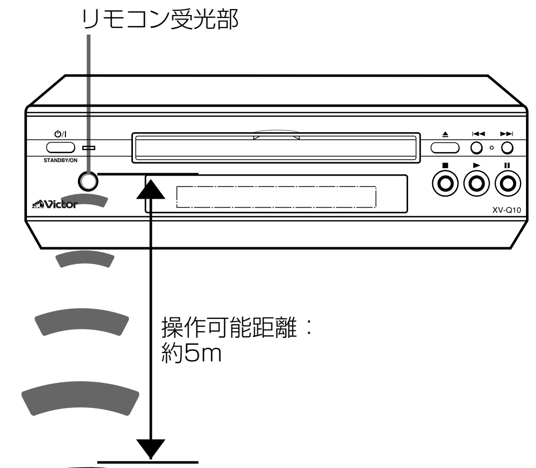


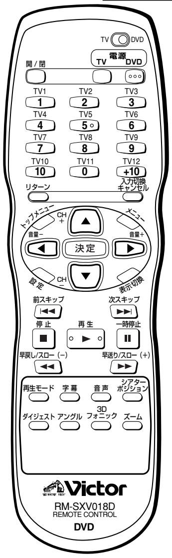
お知らせ

- リモコンで操作できる範囲がせまくなってきたり、本体に近づけないと操作できないときは、乾電池の交換時期です。
  ２本とも新しい乾電池（単３形）と交換してください。使用頻度によって変わりますが、寿命は半年程度です。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。



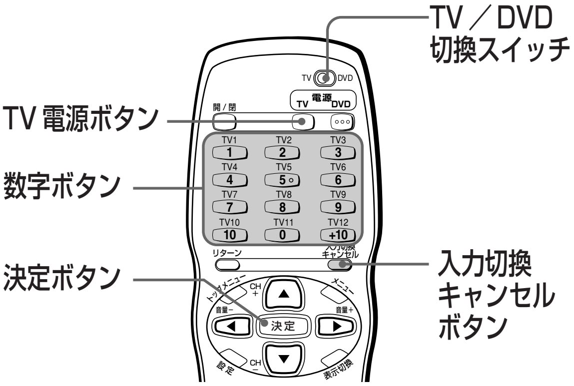


操作可能な距離は、リモコン受光部より約５mですが、斜めから操作すると短くなります。
次のような場合、リモコンが操作できないことがあります。

- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
- 斜めから操作したとき
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があるとき

リモコンでテレビを操作できるように設定する

本機のリモコンを使って、テレビを操作することができます。**ビクター製のテレビをお使いの場合は、電池を入れるだけでリモコンからテレビの操作ができます。**ビクター製以外のテレビをお使いの場合は、以下の手順で本機のリモコンのメーカー設定をしてください。



1 **TV／DVD切換スイッチを「TV」側に切り換える**

2 **手順4が終わるまで入力切換／キャンセルボタンを押したままにする**

3 **数字ボタン（1～9、0）でメーカーのコード番号を入力する**

例： 松下１の場合

入力切換/キャンセルボタンを押したまま

0 ➡ 2 と押します。

メーカーコード表

メーカー名	コード番号
ビクター	01
松下１	02
松下２	03
三菱	04
ソニー	05
日立	06
東芝	07
サンヨー１	08
サンヨー２	09
シャープ	10
パイオニア	11
NEC	12
フナイ１	13
アイワ	14
フナイ２	15
フナイ３	16

※複数のコードを持つメーカーの場合、機種によって動作するコード番号が異なります。順番に試してみて正しく動作するコード番号を選んでください。

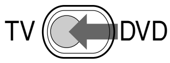
4 **決定ボタンを押す**

5 **入力切換／キャンセルボタンを離す**

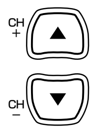
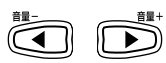
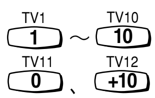
リモコンをテレビに向けて、以下の操作が正常に行えるかを確認してください。

リモコンでテレビを操作する

1 **TV／DVD切換スイッチを「TV」側に切り換える**

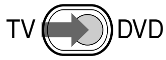


2 **以下のボタンを使ってテレビを操作する**

	テレビの電源を「入」／「切（スタンバイ）」にする
	テレビのチャンネルを変える
	テレビの音量を調節する
	テレビのチャンネルをダイレクトに変える ・数字ボタンの上の「TV1～TV10、およびTV11、TV12テレビ」のチャンネル番号です。
	テレビとビデオ入力を切り換える

準備する

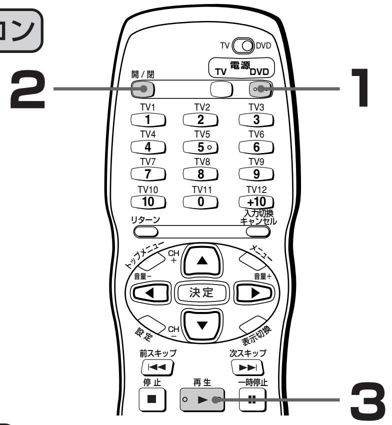
基本操作



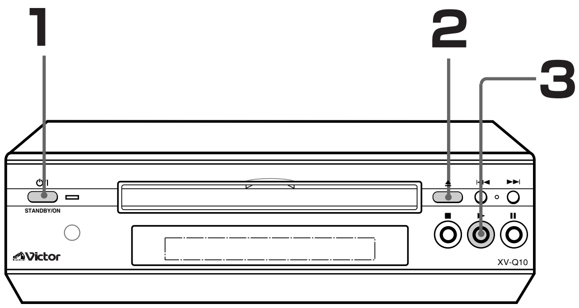
DVD ビデオ、オーディオ CD、ビデオ CD を使うときは、TV ／ DVD 切換スイッチを「DVD」側に切り換えます。

再生する

リモコン



本　体



1 **リモコンの DVD 電源ボタン、または本体の⏻/I（電源）ボタンを押す**

電源が入り、本体前面のスタンバイランプ（赤）が消えて電源が入ります。もう一度押すと電源が切れ、スタンバイランプが点灯します。

お知らせ

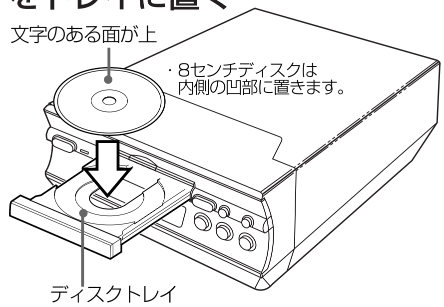
- 電源を切ってもわずかに電力を消費しています。長期間お使いにならないときは安全、および節電のため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

イチ押し操作

- リモコンまたは本体の►再生ボタンを押して電源を入れることができます。このとき、ディスクが入っていると再生が始まります。
- 本体の⏏開／閉ボタンを押したときも電源が入り、ディスクトレイが出てきます。

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD　で使える機能です

2 **リモコンの開／閉ボタン、または本体の⏏（開／閉）ボタンを押し、ディスクをトレイに置く**



3 **リモコンの►再生ボタン、または本体の ►（再生）ボタンを押す**

ディスクの最初から再生が始まります。

- 再生中は、本体の表示窓にタイトル、チャプター（DVDビデオの場合）、トラック（オーディオCD／ビデオCDの場合）の番号を表示します。
- DVDビデオの中にはディスクを入れると自動的に再生が始まるものがあります。
- DVD ビデオや PBC（プレイバックコントロール）で収録されたビデオ CD では、► 再生ボタンを押すとテレビ画面上にメニューが表示されることがあります。この表示されたメニューを見ながら項目を選択して、見たいところを呼び出すことができます。 ☞ 22 ページ

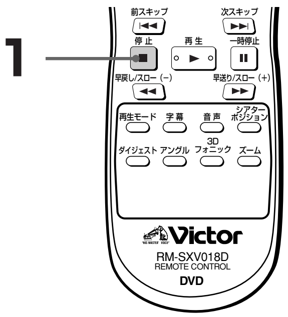
お知らせ

- リージョン番号の合わないDVDビデオを入れると、オープニング画面に「リージョンコードエラー!」が表示され、再生はできません。リージョン番号については「リージョン番号（ローカル番号）について」をご覧ください。 ☞ 12 ページ
- ディスクをトレイにセットするときは、内部の凹部に正しく置いてください。正しく置かないと、トレイを閉めたときにディスクを傷つけたり、トレイが出てこなくなることがあります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプCDなど）は使わないでください。
- 本機にはスタビライザーを使わないでください。

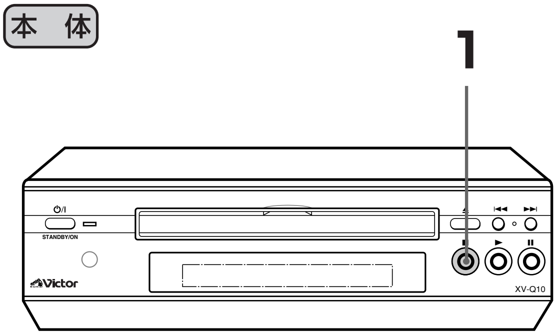
停止する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　で使える機能です

リモコン



本　体



《再生中に》

1 **リモコンの■停止ボタン、または本体の■（停止）ボタンを押す**

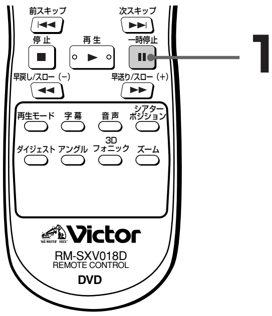
再生を停止します。

- 本機にはDVDビデオやビデオCDの再生を途中で中断すると、その位置が記憶され、あとでその位置から続きを再生することができます。これを「リジューム」といいます。☞21ページ
- お買い上げ時はリジュームがオフ（リジュームしない）に設定されています。☞50ページ

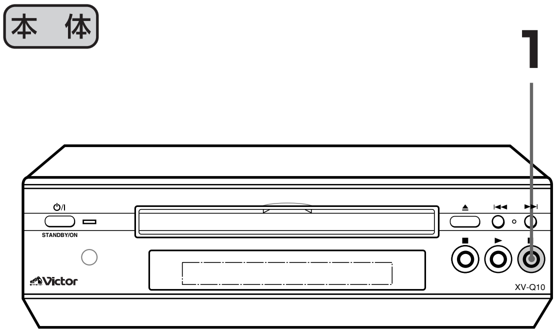
一時停止する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　で使える機能です

リモコン



本　体



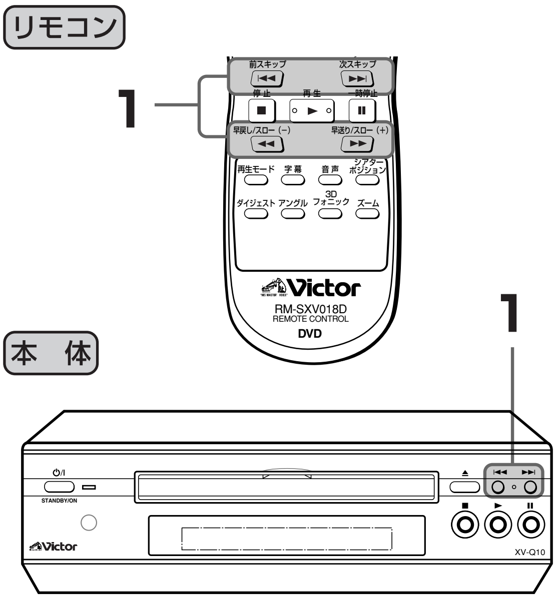
《再生中に》

1 **リモコンの II 一時停止ボタン、または本体のII（一時停止）ボタンを押す**

再生を一時停止します。►再生ボタン押すと再生を再開します。

早送り／早戻しをする

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD で使える機能です



《再生中に》

【早送り／早戻し 1】（リモコンのみ）

1 早送り／スロー（＋）▶▶ボタンまたは早戻し／スロー（－）◀◀ボタンを押す

- ボタンを押すごとに早送り／早戻しのスピードが速くなります（2 倍速～ 60 倍速）。
- 通常の再生に戻すときは、▶再生ボタンを押します。
- DVD ビデオおよびビデオ CD の場合、早送り／早戻し中は音声が出ません。

【早送り / 早戻し 2】

1 リモコンまたは本体の ▶▶I ボタンまたは I◀◀ ボタンを押し続ける

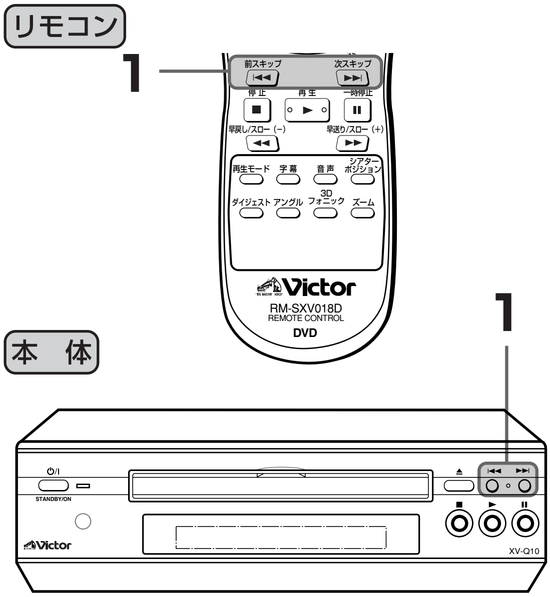
- ▶▶Iボタンを押し続けると早送り、I◀◀ボタンを押し続けると早戻しができます（5 倍速と 20 倍速のみ）。
- ボタンから手を離すと通常の再生に戻ります。
- DVD ビデオおよびビデオ CD の場合、早送り／早戻し中は音声が出ません。

お知らせ

- MP3 ディスクの場合、早送り／早戻しができません。

頭出しをする

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD で使える機能です



《再生中に》

1 リモコンまたは本体の次スキップ ▶▶Iボタン、または前スキップI◀◀ ボタンを押す

- 送る方向に頭出しをするには ▶▶I ボタンを押し、戻す方向に頭出しをするにはI◀◀ボタンを押します。
- オーディオ CD や PBC オフで再生しているビデオ CD では、曲の頭などのトラック番号の区切りに移ります。DVD やPBCオンで再生しているビデオ CD では、収録内容によって異なりますが、多くのディスクではタイトルやチャプターの区切りに移ります。
- 指定したタイトル／チャプター／トラック番号が本体の表示窓に表示され、そこから再生が始まります。
- **PBC をオン／オフするには**
  ☞ 23 ページをご覧ください。

お知らせ

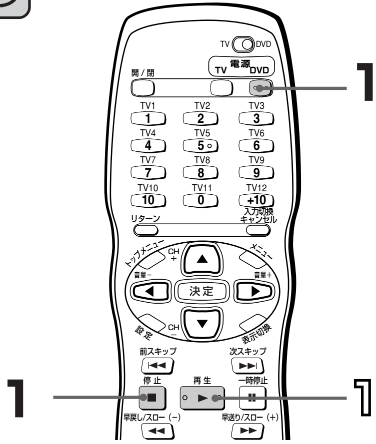
- DVDビデオによっては、この機能を受け付けないものもあります。
- ビデオ CD をPBC再生しているときディスクによっては、この機能を受け付けません。

あとで続きを再生する[リジューム]

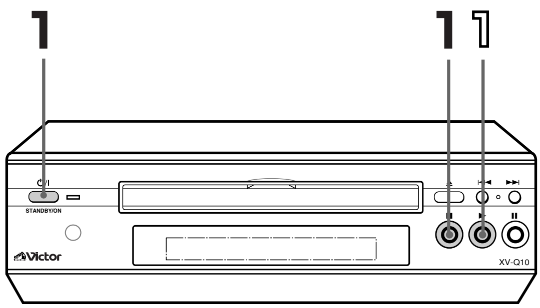
DVDビデオ ビデオCD で使える機能です

映画鑑賞を途中で中断するときなど、その位置を本機に記憶させ、あとでその位置から続きを再生することができます。これを「リジューム」といいます。
お買い上げ時はリジュームが「オフ」（リジュームしない）に設定されているので、リジュームを使うときは初期設定画面の「システム」設定でリジュームできる設定に切り換えてください。☞ 50 ページ

リモコン



本 体



再生位置を記憶させる

《リジューム設定「オン」で再生中に》

1 **中断したいところで、リモコンの■停止ボタン、または本体の■（停止）ボタンを押す**

- 再生が中断し、中断した再生位置が記憶されます。
- リモコンのDVD電源ボタン、または本体の⏻/I（電源）ボタンを押したときも再生位置が記憶されます。
- 以前にリジューム機能を使っていた場合、その記憶は消え、今回の位置が新しく記憶されます。

お知らせ

- ■停止ボタンを押して再生を中断した場合、そのあとで電源を切っても位置の記憶は消えません。
- ディスクトレイを開けると位置の記憶は消えてしまいます。

記憶位置から再生する [リジューム再生]

《前回再生を中断したディスクが入ったままのとき》

1 **リモコンの►再生ボタン、または本体の►（再生）ボタンを押す**

本体の表示窓に「RESUME」が点滅表示され、中断した位置から再生が始まります。

・**位置の記憶を取り消すには**
- ・ディスクトレイを開ける
- ・（電源「入」の状態で）停止中に■停止ボタンを押す
- ・（電源「切（スタンバイ）」の状態で）電源ボタンを押して電源を入れる

お知らせ

- 電源ボタンを押して電源を入れると、リジューム機能は働きません。
- オーディオCDおよびMP3ディスクの場合、リジュームは働きません。
- PBC対応のビデオCDでは、記憶されている位置よりも手前または後から再生されることがあります。
- プログラム再生またはランダム再生のモードのときは、リジュームは働きません。

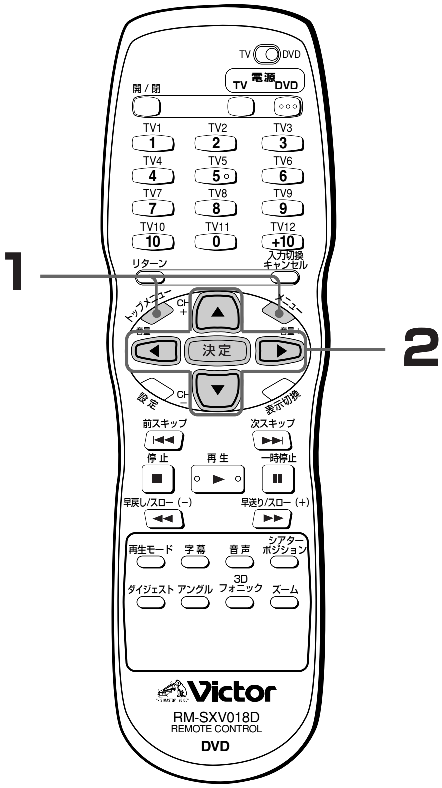
再生するところを選ぶ

タイトル、チャプター、トラックなどを選んだり、再生位置の時間を指定して、そこから再生することができます。

DVDビデオのメニュー画面から選ぶ

DVD ビデオ で使える機能です

DVD ビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。



お知らせ

- ディスクを入れてしばらく経ってからメニュー画面が表示されたときは、手順**1**は必要ありません。手順**2**で見たい内容を選択し、決定ボタンを押してください。
- **トップメニューボタンを押したとき⃠が表示されたときは**
  そのディスクにタイトル一覧のリストを表示するようなメニュー画面が収録されていません。
- **メニューボタンを押したとき⃠が表示されたときは**
  メニュー画面自体が収録されていません。

《メニューボタンを使うとき：DVD ビデオ再生中に》
《トップメニューボタンを使うとき：DVD ビデオ再生中、または停止中に》

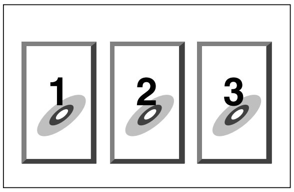
1　メニューボタン、またはトップメニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2　カーソル（◀／▶／▲／▼）ボタンを使って見たい内容を選び、決定ボタンを押す

選択したところから再生されます。

例



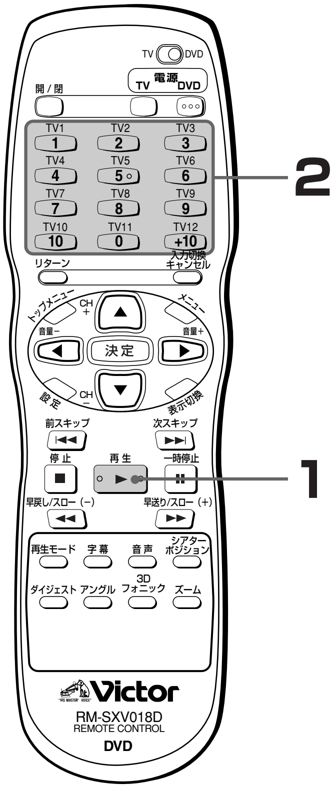
メニューボタンとトップメニューボタンの使い分け

- 複数のタイトルが収録されているディスクは、タイトル名のリストが表示されるなど目次のような役割を持ったメニュー画面が収録されていることがあります。このような場合には、トップメニューボタンを押します。また、複数のタイトルが収録されていないディスクでもメニュー画面が収録されていることがあります。このようなときには、メニューボタンを押します。収録されているメニュー画面が表示されます。
  各ディスクのメニュー構成についてはディスクの説明書をごらんください。
- 停止中は、メニューボタンは働きません。
- メニュー画面によってはカーソル（◀／▶／▲／▼）ボタンによる操作だけではなく、数字ボタンを押すだけで見たい画面を選ぶことができます。

ビデオCDのメニュー画面から選ぶ

ビデオCD で使える機能です

PBCで 収録されたビデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてディスプレイに表示されます。 このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

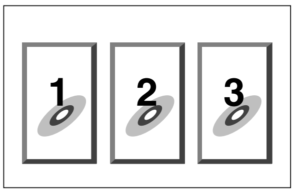


《PBC 対応ビデオ CD が停止中に》

1 ► 再生ボタンを押す

PBC のメニュー画面が表示されます。

例



2 数字ボタン（1～10、+10、0）を使って見たいところの番号を選ぶ

選んだ番号のところが再生されます。

数字ボタンの使いかた

- **1 ～ 10 を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押す。
- **11 以上を選ぶには**
  +10 ボタンを先に押してから 1 ～ 10 のボタンを押す。

  例：13 番を選ぶには [+10] ➡ [3]
  24 番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [4]
  30 番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [10]
  または [+10] ➡ [+10] ➡ [+10] ➡ [0]

メニュー画面に［次］または［前］が表示されたときは

►►I ボタンを押すと、メニューの次のページへ進みます。

I◄◄ ボタンを押すと、メニューの前のページへ戻ります。

※ 表示・操作方法はディスクにより異なります。

メニュー画面に戻したいときには

リターンボタンを押します。

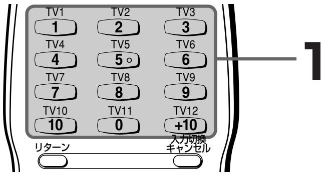
PBC をオン／オフするには

- PBC オフで再生をしている場合は、■ 停止ボタンを押して再生を停止した後にもう一度停止ボタンを押し、► 再生ボタンを押すとPBC機能が働くようになります。(リジューム☞ 21 ページ) この操作は、次のように再生モード画面でも行なうことができます。
  1. **再生モードボタンを押す**
  2. **カーソル（◄／►）ボタンを使って画面上の［PBC 再生］に ↖ を合わせ、決定ボタンを押す**
- PBCオフで再生するには、停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。☞ 24 ページ

再生するところを番号で指定する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　で使える機能です

DVDビデオのタイトルやチャプター、オーディオCD／ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定し、そこから再生を始めることができます。



《DVDビデオ：メニュー表示中以外いつでも》
《オーディオCD：いつでも》
《ビデオCD　：停止中またはPBCオフで再生中に》

1　数字ボタンを使って番号を指定する

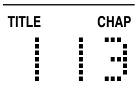
ディスクの種類、および本機の動作状態によって指定する項目が異なります。

動作状態	ディスク種類	指定できる項目
停止中	DVDビデオ	タイトルまたはチャプター*1
	オーディオCD／ビデオCD	トラック
再生中	DVDビデオ	チャプター
	オーディオCD／ビデオCD	トラック

*1 ディスクにタイトルが複数ある場合はタイトル指定、1つしかない場合はチャプター指定になります。

数字ボタンの使い方かた

- **1～10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押す。
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを先に押してから1～10のボタンを押す。
  例：13番を選ぶには +10 ➡ 3
  24番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 4
  30番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 10
  または +10 ➡ +10 ➡ +10 ➡ 0



（DVDビデオの例）

指定した番号が本体の表示窓に表示され、そこから再生が始まります（ダイレクト再生）。またオンスクリーン画面上にも指定した番号が表示されます。

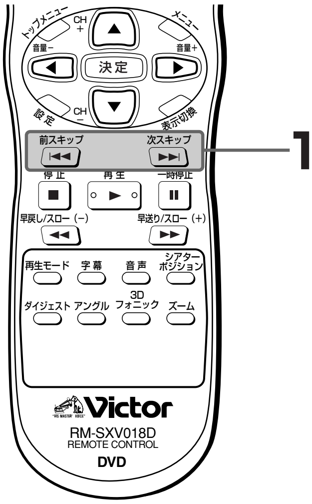
お知らせ

- **手順1で ⃠ が表示されたときは**
  押した番号のタイトル、あるいはトラックが収録されておりません。
- DVDビデオによっては、この機能を使えないものもあります。
- ビデオCDをPBC再生しているときは、この機能は使えません。

▶▶I／I◀◀ボタンを使ってチャプターやトラックを選んで再生する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　で使える機能です

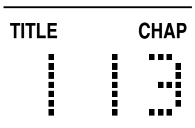
DVDビデオの前後のチャプター、オーディオCD／ビデオCDのトラックの頭にスキップすることができます。



《DVDビデオ：メニュー表示中以外いつでも》
《オーディオCD：いつでも》
《ビデオCD　：PBCオフで再生中に》

1　次スキップ▶▶Iボタン、または前スキップI◀◀ボタンを押す

- 先のチャプター／トラックに進むには、必要な回数だけ▶▶Iボタンを押します。
- 手前のチャプター／トラックに戻すには、必要な回数だけI◀◀ボタンを押します。
- 現在再生しているチャプター／トラックの頭に戻すには、1回だけI◀◀ボタンを押します。
- 選んだチャプター／トラックの番号が本体の表示窓に表示され、そこから再生が始まります。



（DVDビデオの例）

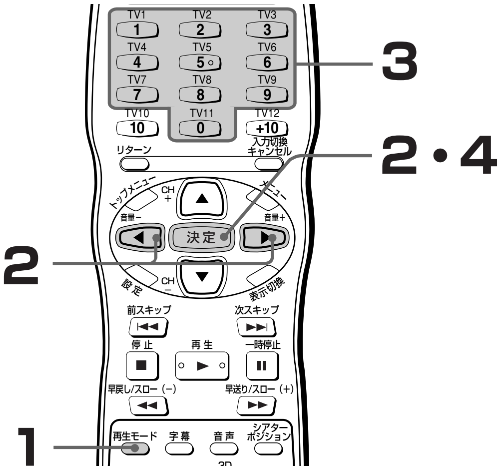
お知らせ

- DVDビデオによっては、この機能を使えないものもあります。
- ビデオCDをPBC再生しているときは、この機能は使えません。

チャプター番号を指定する [チャプターサーチ]

DVD ビデオ で使える機能です

映画が収録されたDVDビデオでは、多くの場合タイトル中の場面をチャプターに分割しています。このチャプター番号を指定することによって、その場面から再生を始めることができます。



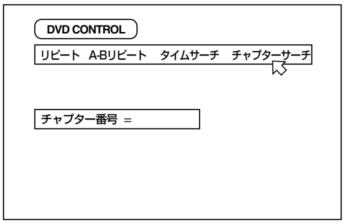
《DVD ビデオ再生中に》

1 再生モードボタンを押す

DVD ビデオの再生モードが表示されます。

2 カーソル (◀／▶) ボタンを使って [チャプターサーチ] に ⇖ を合わせ、決定ボタンを押す

メニュー画面に「チャプター番号＝」と表示されます。



3 数字ボタン(1～9、0)を使って、見たいチャプター番号を入力する

例:
8番のチャプターから再生したいとき
8 を押す
30番のチャプターから再生したいとき
3 ➡ 0 を押す
37番のチャプターから再生したいとき
3 ➡ 7 の順に押す
※この機能では +10 と 10 ボタンは使いません。

4 決定ボタンを押す

選んだ番号のチャプターから再生が始まります。

- **手順 3 で番号を間違えたときは**
  正しい番号を押し直してください。
- **再生モード表示を消すには**
  再生モードボタンを押します。

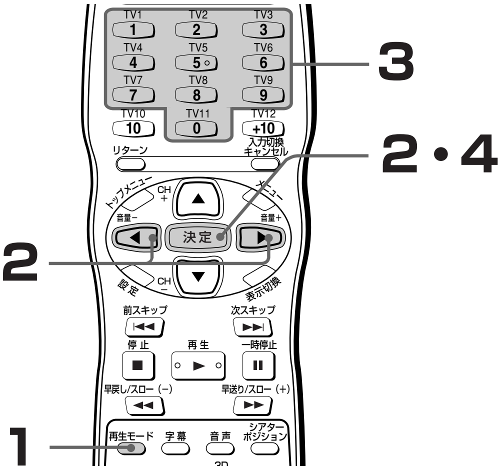
お知らせ

- **手順 3 で⃠が表示されときは**
  入力した番号のチャプターが収録されておりません。
  または、ディスクがこの機能を受け付けない構成になっています。
- **数字ボタンでチャプターを直接選ぶには**
  24 ページの「再生するところを番号で指定する」をご覧ください。

指定した時間から再生する[タイムサーチ]

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD で使える機能です

現在のタイトルやトラックの頭からの経過時間を指定することによって、希望の位置から再生を始めることができます。



《再生中に》

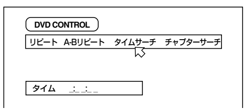
1 再生モードボタンを押す

再生モードが表示されます。

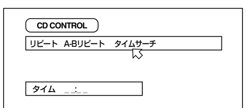
2 カーソル（◀／▶）ボタンを使って[タイムサーチ]に ↖ を合わせ、決定ボタンを押す

メニュー画面に「タイム」と表示されます。

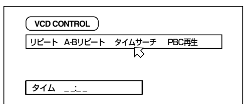
（DVDビデオの場合）



（オーディオCDの場合）



（ビデオCDの場合）



3 数字ボタン(1～9、0)を使って時間を入力する

指定した時間がメッセージエリアに表示されます。

DVDビデオでは「時・分・秒」で、オーディオCDやビデオCDでは「分・秒」で指定します。

※ この機能では +10 と 10 ボタンは使いません。

3

例：現在再生しているDVDビデオのタイトルの頭から2時間34分の位置から再生したいとき

タイム　_:_ _:_ _

↓ 2 を押す

タイム　2 _ _:_ _

↓ 3 を押す

タイム　2 : 3_ : _ _

↓ 4 を押す

タイム　2 : 34 : _ _

秒を指定しない場合「00」は省略することができます。

- **時間を間違えた場合**

  間違えた場所にカーソルボタンを使ってアンダーバー（_）を移動し、数字ボタンで正しい時間を入力し直してください。

  例：2時間34分を間違えて2時間35分と入力してしまったときは

  タイム　2 : 35 : _ _

  ↓ カーソル(◀)ボタンを押す

  タイム　2 : 3_: _ _

  ↓ 4 を押す

  タイム　2 : 34 : _ _

4 決定ボタンを押す

指定した時間から再生が始まります。

再生モード表示を消すには

再生モードボタンを押します。

お知らせ

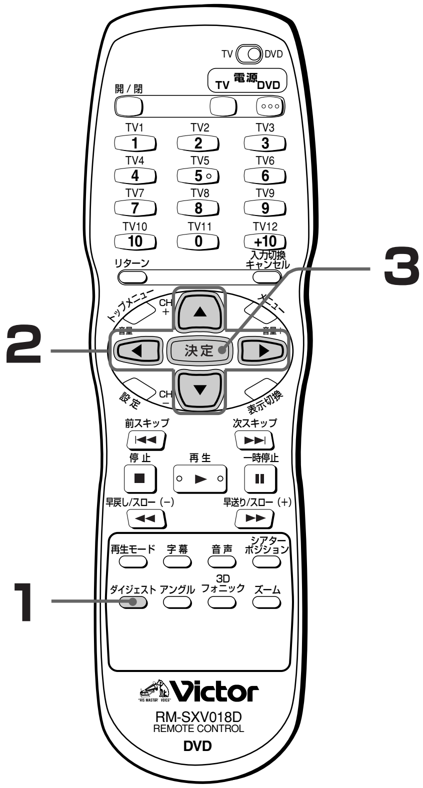
- **操作中に⃠が表示されたときは**

  入力した時間が再生中のタイトル／トラックの時間を超えているので、タイムサーチは機能しません。またはDVDビデオによってはタイムサーチを受け付けない場合があります。
- PBC再生中のビデオCDではタイムサーチ機能が働きません。
- プログラム再生中、またはランダム再生中はタイムサーチ機能は働きません。
- DVDビデオの中には時間情報が記録されていないものもあります。そのようなディスクに対してはタイムサーチ機能を使えません。

場面の一覧から選ぶ[ダイジェスト]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です

DVDビデオの各タイトル／チャプター、あるいはビデオCDの各トラックの最初の場面を一覧表示させることができます。これを「ダイジェスト画面」といいます。また、ダイジェスト画面から、見たいところを選ぶことができます。



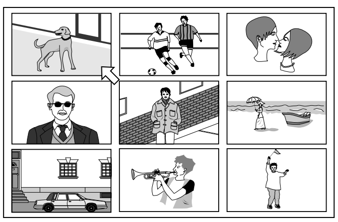
《DVDビデオ：停止中または再生中に》
《ビデオCD：停止中またはPBCオフで再生中に》

1 ダイジェストボタンを押す

DVDビデオ停止中：
各タイトルの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

DVDビデオ再生中：
いま再生中のタイトル内の各チャプターの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

ビデオCD：
停止中、再生中にかかわらず、各トラックの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。



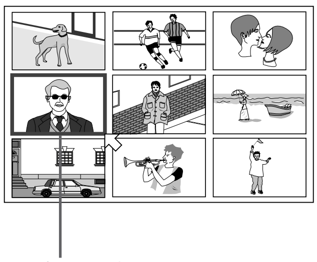
ダイジェスト画面の例

2 カーソル(◀／▶／▲／▼）ボタンを使って、見たい場面に↖を移動させる

収録されているタイトル、チャプター、あるいはトラックが9つより多い場合は、ダイジェスト画面が2ページ以上になります。

この場合、↖の位置に関係なく▶▶|ボタンを押すと次のページが表示され、|◀◀ボタンを押すと前のページが表示されます。

また右下に表示された場面を選んでいるときにカーソル（▶）ボタンを押すと、次のページが表示され、左上に表示された場面を選んでいるときにカーソル(◀)ボタンを押すと、前のページが表示されます。



選択した場面

3 決定ボタンを押す

選んだ場面から再生が始まります。

お知らせ

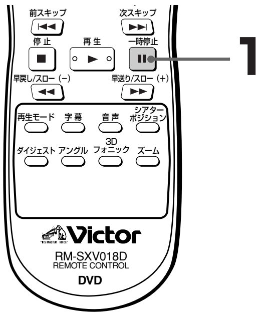
- ディスクによっては、すべての画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

特殊な画像再生

画像を1コマずつ送ったり、連続写真のように表示したり、スローモーション再生したり、あるいはズームアップすることができます。

画像を1コマずつ送る

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です



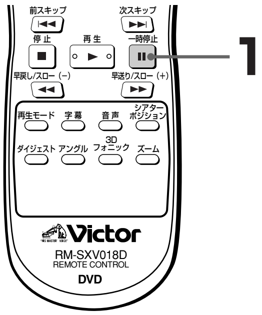
《一時停止中に》

1 **❚❚一時停止ボタンを押す**

押すごとに静止画像が 1 コマずつ進みます。
►再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

連続写真のように表示する[ストロボ]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です

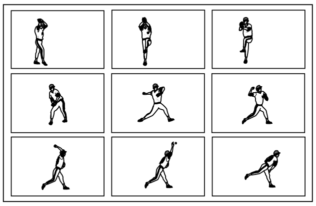


《一時停止中に》

1 **❚❚一時停止ボタンを1秒以上押し続ける**

連続した9つのフレームが静止画像（ストロボ画面）として表示されます。

例：



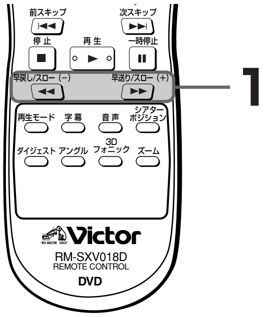
- **ストロボ機能を解除するには**
  ❚❚一時停止ボタンを1秒以上押し続けます。一時停止画面に戻ります。
- スロボ画面を表示中に ❚❚ 一時停止ボタンを押すと、次のストロボ画面が表示されます。押すごとに次のストロボ画面が表示されます。
- ストロボ画面を表示中に ► 再生ボタンを押すと、9 分割表示のまま再生します。

お知らせ

- 再生中に ❚❚ 一時停止ボタンを 1 秒以上押したままにした場合も 9 つの静止画が現れますが、これらはリアルタイムで先に進みます。

スローモーションで再生する[スロー]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です



《一時停止中に》

1　早送り／スロー（＋）▶▶ボタン、または早戻し／スロー（−）◀◀ボタンを押す

進む方向にスロー再生したいときは ▶▶ ボタンを押します。
押すごとに、1／32➡1／16➡1／8➡1／4➡1／3➡1／2の順序で速度が変わります。

戻す方向にスロー再生したいときは ◀◀ ボタンを押します（DVD ビデオのみ）。
押すごとに、1／16➡1／12➡1／8➡1／4➡1／3の順序で速度が変わります。

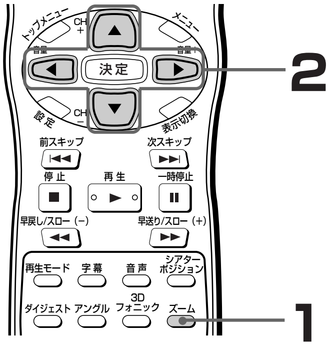
- **スロー再生を解除するには**
  ❚❚一時停止ボタンを押すと、一時停止状態に戻ります。さらに▶再生ボタンを押すと、通常再生になります。

お知らせ

- スロー再生中、音声は再生されません。
- ビデオ CD では逆方向のスロー再生はできません。

画像の一部を拡大する[ズーム]

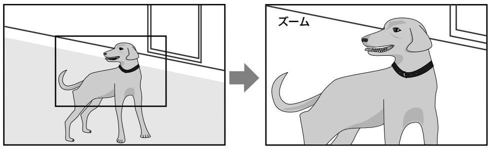
DVDビデオ ビデオCD で使える機能です



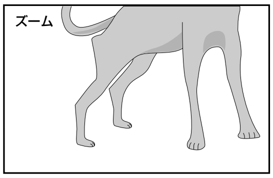
《 再生中または一時停止中に》

1　ズームボタンを押す

画像が２倍に拡大されます。
例：



2　カーソル（◀／▶／▲／▼）ボタンを使って、見たい部分を選ぶ



- **ズームを解除するには**
  もう一度ズームボタンを押します。

お知らせ

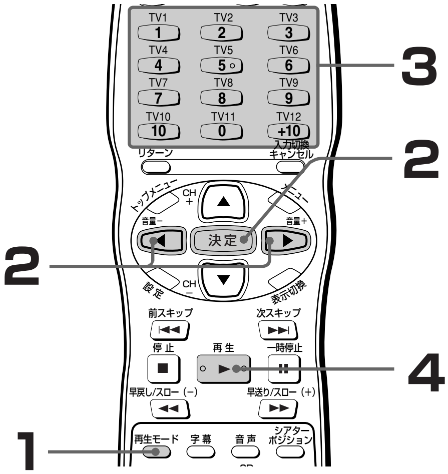
- 拡大すると、画質が悪化したり、シーンによってはブレることがあります。

順番を変えて再生する

好きな順番で再生する[プログラム再生]

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

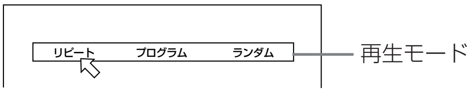
タイトルやトラックを好きな順番で再生することができます。



《停止中に》

1 **再生モードボタンを押す**

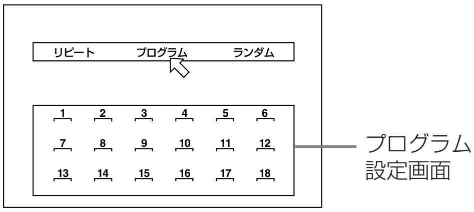
再生モードが表示されます。



2 **カーソル（◄／►）ボタンを使って[プログラム] に を合わせ、決定ボタンを押す**

プログラム設定画面が表示されます。

本体の表示窓に「PROGRAM」が表示されます。

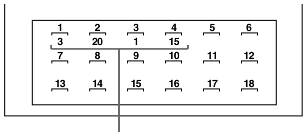


3 **数字ボタン(1〜10、0、+10)を使ってタイトル、またはトラックを選ぶ**

- **1 〜 10 を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを押す。
- **11 以上を選ぶには**
  +10ボタンを先に押してから1〜10のボタンを押す。

  例：13 番を選ぶには +10 ➡ 3
  24 番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 4
  30 番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 10

この操作を繰り返して、最大18タイトル／トラックまで選ぶことができます。また、同じタイトル／トラックを何度も選ぶこともできます。



選んだタイトル／トラック番号が各プログラム番号の下に表示されます。

- **間違えたタイトルやトラックを選んだときは**
  入力切換／キャンセルボタンを押します。
- **途中でプログラムの内容をすべて取り消すには**
  プログラム設定画面表示中に ■ 停止ボタンを押します。

4 **► 再生ボタンを押す**

プログラム再生が始まります。最後まで再生すると停止します。このときプログラム内容は残っていますので、もう一度►再生ボタンを押すと同じプログラム内容で再生が始まります。

- **プログラム再生をやめるには**
  停止中に再生モードボタンを押して、プログラム設定表示の［プログラム］に を合わせ、決定ボタンを押します。プログラムの内容は残ったままです。
  再生中に ■ 停止ボタンを 2 回押してもプログラム再生が解除されます。この時もプログラムの内容は残ったままです。
- **プログラムの内容をすべて取り消すには**
  プログラム設定画面表示中に ■ 停止ボタンを押します。
  以下の操作をした場合もプログラムの内容はすべて取り消されます。
  - 本体の▲ボタンを押してディスクトレイを出す
  - 電源を切る

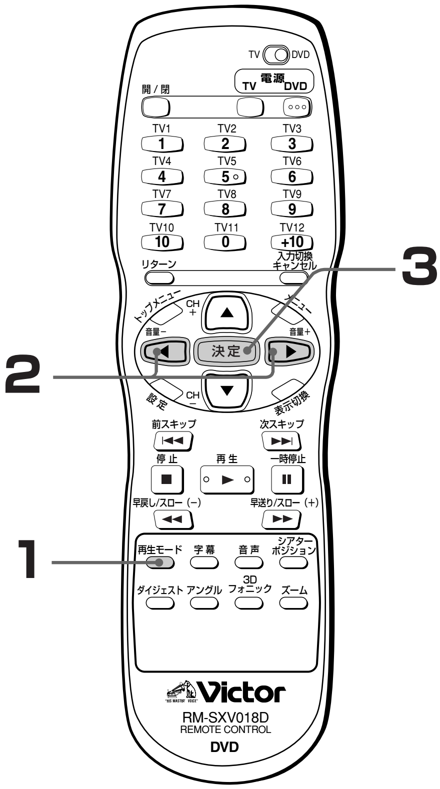
お知らせ

- ディスクによってプログラム再生できないものがあります（DVDビデオのみ）。
- プログラム再生中に►►Iボタンを押すと、次にプログラムされているタイトルやトラックに移ります。
  また、I◄◄ボタンを押すと再生中のタイトルやトラックの頭に戻りますが、手前のタイトルやトラックに戻ることはできません。
- プログラム再生中に再生モードボタンを押してプログラム設定画面を表示させると、再生中のプログラム番号が黄色く表示されます。

ランダム(無作為)な順番で再生する[ランダム再生]

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD で使える機能です

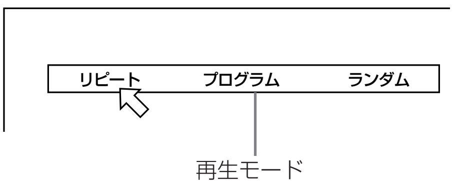
タイトルやトラックをランダム（無作為）な順番で再生します。



《停止中に》

1　再生モードボタンを押す

再生モードが表示されます。



2　カーソル（◀/▶）ボタンを使って［ランダム］に ↖ を合わせる



3　決定ボタンを押す

本体の表示窓に｢RANDOM｣が表示され、ランダム再生が始まります。すべてのタイトル／トラックを１回ずつ再生すると、自動的に停止します。

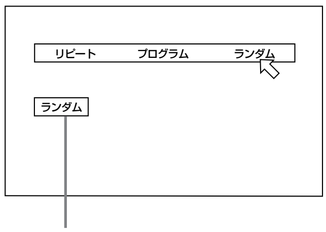
ランダム再生中に■停止ボタンを押すと、ランダム再生を停止します。この状態ではランダム再生モードのままですので、▶再生ボタンを押すと再びランダム再生を始めます。

- **ランダム再生を解除するには**

  停止中に再生モードボタンを押して、再生モードを表示させます。カーソル（◀/▶）ボタンを使って［ランダム］に ↖ を合わせ、決定ボタンを押します。また、再生中に■停止ボタンを２回押しても解除することができます。

  次の操作をしてもランダム再生が解除されます。

  - 本体の ⏏ ボタンを押してディスクトレイを出す。
  - 電源を切る。



ここの「ランダム」表示が消えます。

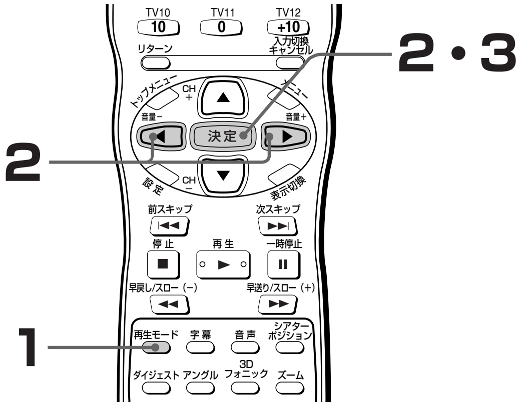
再生モード表示を消すには、再生モードボタンを押します。

いろいろな再生のしかた

くり返し再生する

タイトル／チャプター／トラック、またはディスク全体をくり返す[リピート]

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD で使える機能です



《再生中に》

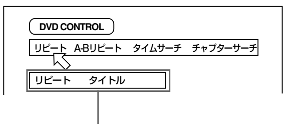
1　再生モードボタンを押す

再生モードが表示されます。

2　カーソル（◀／▶）ボタンを使って[リピート] に ⇖ を合わせ、決定ボタンを押す

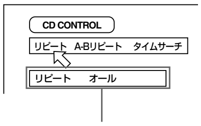
リピートモードが表示されます。

（DVD ビデオ）



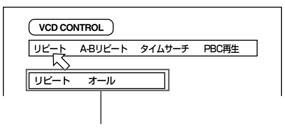
リピートモード

（オーディオ CD）



リピートモード

（ビデオ CD）



リピートモード

3　決定ボタンを押してリピートモードを選ぶ

押すごとにリピートモードは以下のように切り換わります。

[DVD ビデオの場合]

→ リピート　タイトル　：現在のタイトルをリピート（表示窓は ⭮ を表示）
↓
リピート　チャプター：現在のチャプターをリピート（表示窓は ⭮1 を表示）
↓
表示なし　：リピートしない

[オーディオ CD ／ビデオ CD の場合]

→ リピート　オール　：ディスク全体をリピート（表示窓は ⭮ を表示）
↓
リピート 1　：現在のトラックをリピート（表示窓は ⭮1を表示）
↓
表示なし　：リピートしない

オーディオ CD とビデオ CD の場合、停止中でもリピートの設定をすることができます。この場合、画面表示は再生中に操作したときと少し異なりますが、操作手順は同じです。

- オーディオ CD ／ビデオ CD の場合：
  リピート再生時に■停止ボタンを押すと、再生が停止しますがリピートの設定は残っています。
- DVD ビデオの場合：
  リピート再生時に■停止ボタンを押すと、再生が停止してリピートの設定が解除されます。

- **リピートの設定を解除するには**
  手順 **3** でリピートモードが表示されない状態（表示なし）を選んでください。

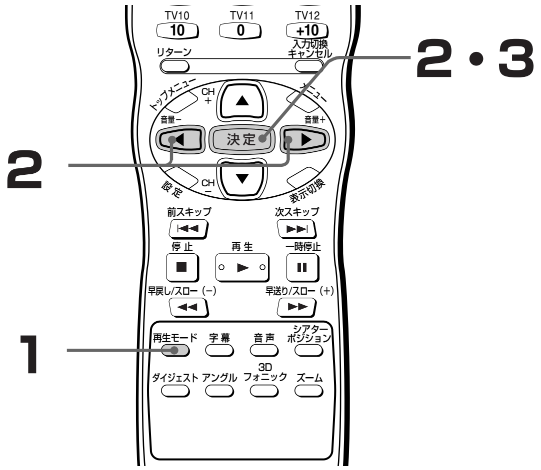
- **再生モード表示を消すには**
  再生モードボタンを押します。画面は消えますが、リピートの設定は残っています。

お知らせ

- DVDビデオの中には、リピート再生の途中で自動的に停止するものがあります。
- ビデオ CD の PBC 再生中は、リピート再生ができません。
- **⊘が表示されたら**
  ディスクの構成上、リピート再生はできません。

指定した範囲をくり返し再生する [A-Bリピート]

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD で使える機能です



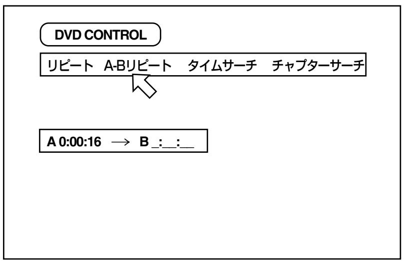
《再生中に》

1　再生モードボタンを押す

再生モードが表示されます。

2　カーソル（◄／►）ボタンを使って[A-Bリピート]に ⇖ を合わせ、くり返したい部分の頭で、決定ボタンを押す

くり返したい部分の最初のところが「Aポイント」として表示されます。
本体の表示窓に「↻ A-」が表示されます。



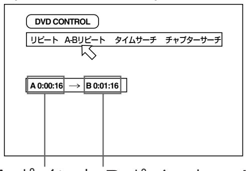
例：DVD ビデオの場合

3　くり返したい部分の終わりで、決定ボタンを押す

くり返したい部分の終わりのところが「Bポイント」として表示されます。

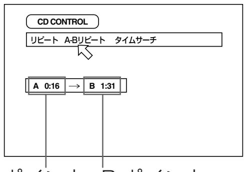
本体の表示窓に「↻ A-B」が表示されます。

（DVD ビデオ）



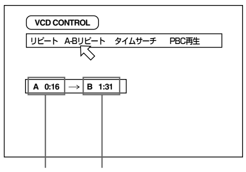
A ポイント B ポイント

（オーディオ CD）



A ポイント　B ポイント

（ビデオ CD）



A ポイント　B ポイント

A-B 間がくり返し再生されます。

- **A-B リピートを解除するには**
  ■停止ボタンを押すと、再生が停止して、A-B リピートが解除されます。

  またはカーソル（◄／►）ボタンを使って画面上の[A-Bリピート]に ⇖ を合わせて決定ボタンを押すと、A-Bリピートは解除されますが、再生は続きます。

  ►►I または I◄◄ ボタンを押しても、A-B リピートの設定が解除されます。

お知らせ

- **⊘が表示されたときは**
  そのディスクでは A-B リピート機能が使えません。
- DVDビデオでは、タイトルをまたがるA-B リピートはできません。
- **再生モード表示を消すには**
  再生モードボタンを押します。
  画面は消えますが A-B リピートの設定は残っています。
- プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中は、A-Bリピートはできません。

いろいろな再生のしかた

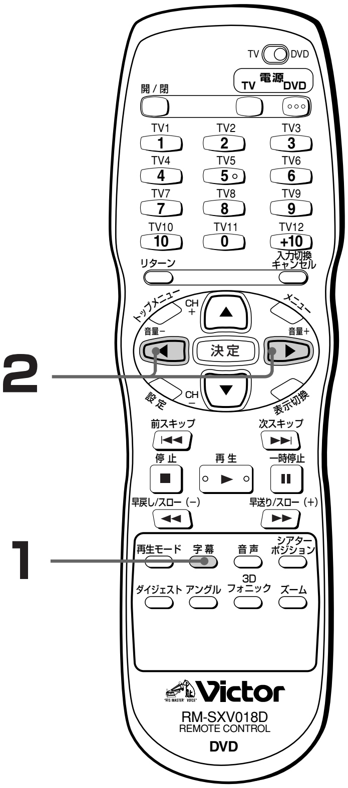
字幕や音声を切り換える

DVDビデオには外国映画など、字幕が表示されるものや複数の音声が収録されたものがあります。このようなディスクを再生するときには字幕の種類（または字幕なし）や、音声を選択することができます。
またカラオケ機能のついたビデオCDではオーディオ再生チャンネルを切り換えることによって、カラオケの歌あり／なしを選択できます。

字幕を切り換える[字幕]

DVDビデオで使える機能です

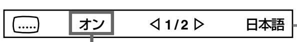
- オンスクリーンガイドが「オン」のとき、複数の字幕が収録されている箇所の冒頭でテレビ画面に [....] が表示されます。☞ 50 ページ



《DVDビデオ再生中に》

1 字幕ボタンを押す

テレビ画面に字幕選択表示が表示されます。
字幕ボタンを押すごとに字幕の「オン」（表示される）／「オフ」（表示しない）が切り換わります。



字幕選択表示

字幕「オン」の場合

2 カーソル（◀／▶）ボタンを使って見たい言語を選ぶ

押すごとに字幕の言語が切り換わります。

例：
1/2 日本語
↕
2/2 英語
↕
–/2（字幕なし）

- 日本語、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語以外は言語コードが表示されます。☞ 58 ページ

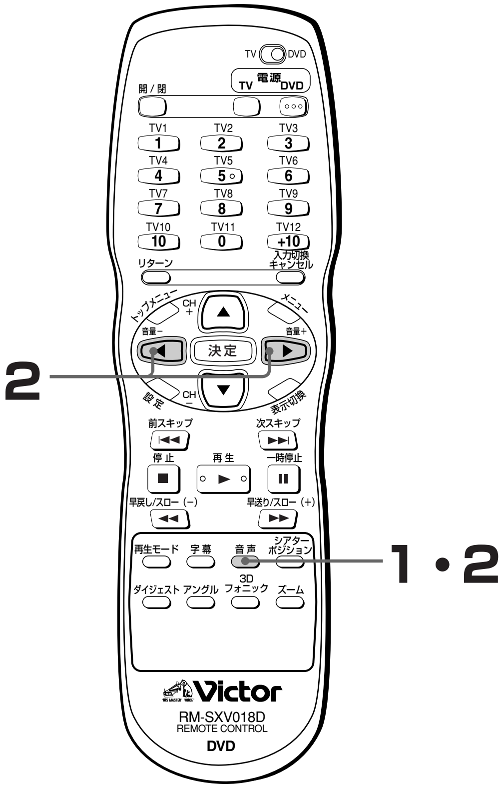
お知らせ

- 字幕ボタンを押して10秒間何も操作をしないと、字幕選択表示が消えます。この表示がある間に字幕を選んでください。
- 字幕選択表示をすぐに消したいときは、決定ボタンを押します。
- **字幕ボタンを押して⃠が表示されたときは**
  ディスクに字幕が収録されていない、またはこの操作が禁止されています。
- **DVDビデオに字幕が収録されていないとこの機能は使えません。**

音声を選ぶ[音声]

DVD ビデオ　ビデオ CD で使える機能です

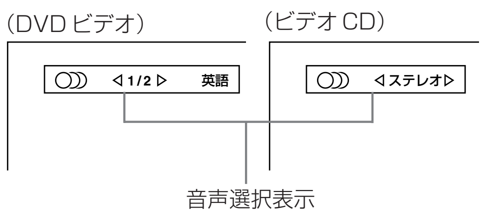
- オンスクリーンガイドが「オン」のとき、複数の音声が収録されている箇所の冒頭でテレビ画面に ◯)) 表示されます。☞ 50 ページ



《再生中に》

1　音声ボタンを押す

テレビ画面にに音声選択表示が表示されます。



※ この段階では、まだ音声は切り換わっていません。

2　カーソル（◀／▶）ボタンまたは音声ボタンを使って、音声の言語やチャンネルを選ぶ

[DVD ビデオの場合]

カーソル（◀／▶）ボタンまたは音声ボタンを押すごとに、言語が切り換わります。

例：1/2 英語 ⇕ 2/2 日本語

- 日本語、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語以外は言語コードが表示されます。☞ 58 ページ

[ビデオ CD の場合]

カーソル（◀／▶）ボタン、または音声ボタンを押すごとに、チャンネルが切り換わります。

ステレオ：通常の再生
⇕
L：左チャンネルの音を左右から再生
⇕
R：右チャンネルの音を左右から再生

お知らせ

- 10秒間何も操作しないと音声選択表示は自動的に消えます。
- 音声選択表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- **DVDビデオ再生中に音声ボタンを押して⊘が表示されたときは**
  ディスクに複数の言語が収録されていない、またはこの操作が禁止されています。

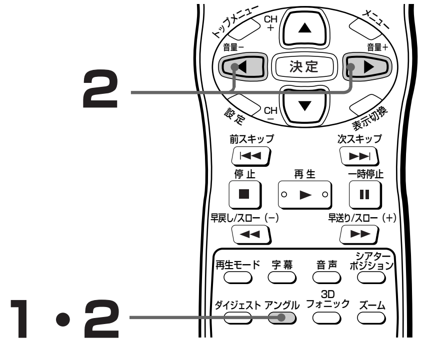
映像のアングル(角度)を変える

DVDビデオの音楽ライブソフトなどには、複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像（マルチアングル）が複数収録されたものがあります。このようなディスクを再生するときには、どの角度からの映像を見るか選択することができます。

- オンスクリーンガイドが「オン」のとき、マルチアングル収録された個所の冒頭でテレビ画面に が表示されます。☞ 50 ページ

アングルを切り換える

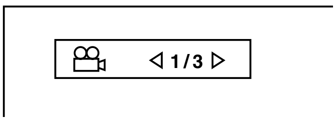
DVD ビデオ で使える機能です



《DVD ビデオ再生中に》

1　アングルボタンを押す

アングル選択表示が表示されます。



2　アングルボタン、またはカーソル（◀／▶）ボタンを使って見たいアングル番号を選ぶ

アングルボタン、またはカーソル（◀／▶）ボタンを押すごとにアングルが変わります。

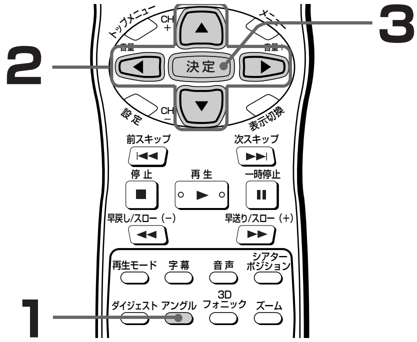
例：1 / 3 → 2 / 3 → 3 / 3

お知らせ

- 10秒間何も操作しないとアングル選択表示は自動的に消えます。
- アングル選択表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。
- **⃠が表示されたときは**
  今再生しているところはマルチアングルで収録されていません。

アングル一覧から選ぶ

DVD ビデオ で使える機能です

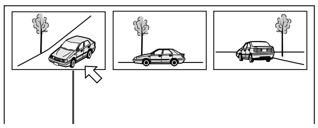


《DVD ビデオ再生中に》

1　アングルボタンを 1 秒以上押し続ける

テレビ画面に、アングル一覧（最大9アングル）が表示されます。

2　カーソル(▲／▼／◀／▶)ボタンを使って、見たいアングルを選ぶ



選んでいるアングル

3　決定ボタンを押す

選んだアングルで再生されます。

お知らせ

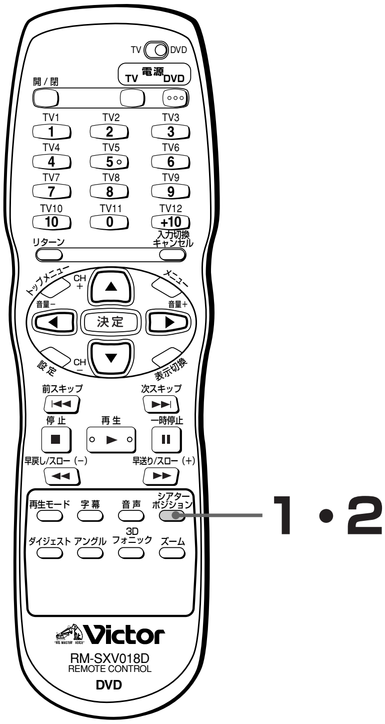
- **⃠が表示されたときは**
  今再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またはディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。
- 上記の操作中は音声が消えますが、再生は続いています。

画質を切り換える

映像を鑑賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を選択することができます。

画質を切り換える[シアターポジション]

DVD ビデオ　ビデオ CD　で使える機能です



《再生中に》

1　**シアターポジションボタンを押す**

テレビ画面にシアターポジションが表示されます。



選択中のシアターポジション

2　**シアターポジションボタンを使ってシアターポジションを選ぶ**

シアターポジションボタンを押すごとに、以下のように切り換わります。

シアターオフ
↓
シアター1
↓
シアター2
↓
シアター3
（シアターオフに戻る）

「シアターオフ」が通常のポジションです。大きい番号ほど効果が強くなり、画面の明るさを抑えた落ち着いた映像になります。

お知らせ

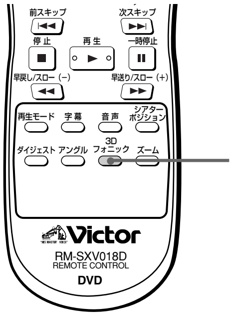
- 5 秒間何も操作しないと、シアターポジション表示が自動的に消えます。
- シアターポジション表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。

サラウンド感を演出する

2 本のスピーカーでサラウンドの効果を出すことができます。この機能は音声出力がアナログ出力のときにのみ有効です。

サラウンド感を出す[3Dフォニック]

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD で使える機能です



1・2

《再生中に》

1　**3D フォニックボタンを押す**

テレビ画面に 3D フォニック表示が現われます。



現在の設定

2　**3Dフォニックボタンを使ってモードを選ぶ**

3D フォニックボタンを押すごとに、設定が以下のように切り換わります。

3D PHONIC オフ
（お買い上げ時の設定）
↓
3D PHONIC アクション*
↓
3D PHONIC ドラマ
↓
3D PHONIC シアター

3D PHONIC アクション：
　アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。

3D PHONIC ドラマ：
　包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。

3D PHONIC シアター：
　ハリウッドの一流映画の音響効果で楽しめます。

* ドルビーデジタルの3チャンネル以上で収録されたDVDビデオの音声を再生中の場合には、「3D PHONICアクション」を設定することはできません。

- 5 秒間何も操作しないと、3D フォニック表示が自動的に消えます。
- 3D フォニック表示をすぐに消したいときは決定ボタンを押します。

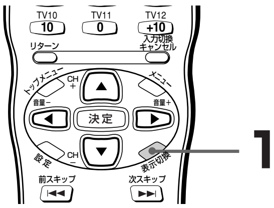
お知らせ

- ビデオCDの音声を通常のステレオ以外（「L」または「R」）に設定している場合、3Dフォニック機能は働きません（オフ設定になります）。逆に、3Dフォニック機能を使っているときに音声設定を「ステレオ」以外に変えると、3Dフォニック機能がキャンセルされます。
- 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタル、またはドルビーサラウンドで収録されたDVDビデオの音声に限り、正しい効果を得られます。その他のソースでは3Dフォニックボタンを押しても正しい効果が得られません。
- ドルビーデジタルでリアチャンネルの音声信号が収録されていないDVDビデオの場合、3Dフォニックの設定は切り換えられますが、正しい効果は得られません。
- デジタル音声出力端子から出力されるDVDビデオのDTSビットストリーム信号やドルビーデジタルビットストリーム信号には、3Dフォニックの効果はかかりません。
- リニアPCMで収録されたDVDビデオの音声には、3Dフォニックボタンを押しても動作しません。
- 3Dフォニック機能を働かせると、初期設定の「音声」画面にあるダウンミックスとコンプレッションの設定が無効になります。

時間や再生についての情報を見る

現在再生中のディスクについて、時間や再生についての情報を見ることができます。

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です



《再生中に》

1 **表示切換ボタンを押す**

押すごとに次の順序で表示が切り換わります。

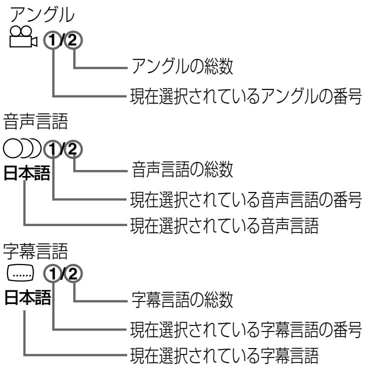
表示なし ➡ DVDビデオ情報（DVDビデオのみ） ➡ 時間情報

DVD ビデオ情報（DVD ビデオのみ）

現在選んでいるカメラアングル、音声言語、字幕言語を表示します。

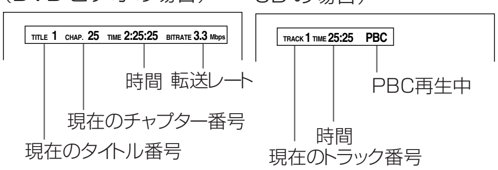


例：



時間情報

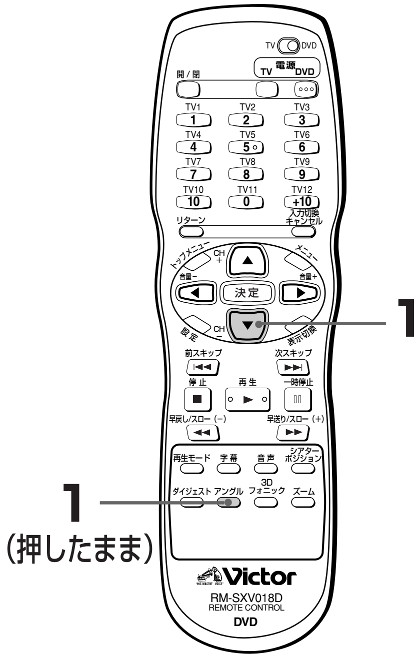
（DVD ビデオの場合）　（PBC 再生中のビデオ CD の場合）



（オーディオ CD ／ PBC オフで再生中のビデオ CD の場合）



表示窓の明るさを抑える



《トレイにディスクが入っていないとき、または停止中》

1 **アングルボタンを押したままカーソル（▼）ボタンを押す**

３段階の明るさの中から選択できます。初期設定では一番明るい設定になっていますので、カーソル（▼）ボタンを押すことによって暗くすることができます。

- **暗い表示から明るい表示に戻すには**
  アングルボタンを押したままカーソル（▲）ボタンを押します。

MP3 ディスクの基本操作

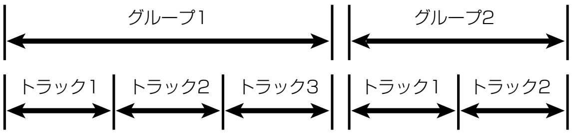
本機は MP3 フォーマットで記録された CD-R ／ CD-RW ディスクを再生することができます（本取扱説明書ではこれらのディスクを「MP3 ディスク」と呼んでいます）。MP3 ディスクの操作はオーディオ CD の場合の操作に似ていますが、いくつかの制限事項があります。

MP3とは

MP3は正式には「MPEG-1 Audio Layer-3」と呼ばれるMPEG規格の１つです。人間の耳によく聞こえない音を無視して、聞こえる音のみを記録するデータ圧縮方法により、少ないデータ容量で高音質のステレオオーディオを記録することができます。通常のオーディオ CD が最大１時間少々の再生時間であるのに対して、MP3 フォーマットでは CD-R ／ CD-RW に約 10 時間の記録をすることができます。

MP3の構造

MP3ディスクには、それぞれの曲が各「トラック(ファイル)」に記録されています。また、一般的に複数のトラックをカテゴリー別、アーティスト別などの「グループ（フォルダ)」にまとめて分類してあります。



本機は最大99グループ、各グループ内に最大254トラックを扱うことができます。1枚のディスクで再生できるトラックは最大1023トラックまでです。
1023トラックを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。
またディスクにMP3以外のファイルが含まれている場合、そのファイルは無視されます。

CD-R ／ CD-RW ドライブを使ってMP3ディスクを作るときの注意点

ご自分でMP3ディスクを作成するときは、以下の点にご注意ください。

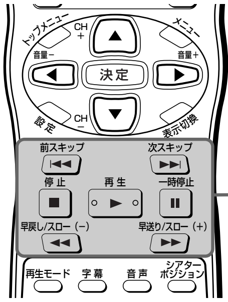
- ディスクフォーマットは「ISO 9660」を選んでください。
- マルチセッション記録をしないでください。
- 録音が終わったらファイナライズしてください。

お知らせ

- パケットライト方式(用語解説 ☞ 65 ページ)で作成したディスクは、本機では再生できません。
- ディスクの記録状態や特性により、再生できない場合や読み取りに時間がかかることがあります。
- MP3ディスク上にグループに属さないトラックがある場合、本機はこのトラックを仮想グループ(用語解説 ☞ 64 ページ)に属しているものとみなします。
- MP3ディスク再生時、デジタル音声出力からは信号は出力されません。
- 本機はMP3ディスクのグループ／トラックをアルファベット順に再生します。したがって、市販MP3ディスクを再生した場合、ディスクに記載されている曲順とは異なった曲順で再生されることがあります。

基本操作

MP3 で使える機能です



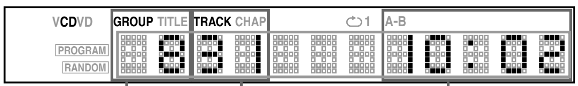
基本操作で使うボタン

基本操作ボタンの機能を以下の表にまとめます。
ご覧のように、これらのボタンはオーディオ CD の場合と同じ働きをします。

ボタン	機　能
再生 ►	再生を始めます。
停止 ■	再生を停止します。
一時停止 ❚❚	再生を一時停止します。
前スキップ ❙◄◄　次スキップ ►►❙	前後のトラックを選択します*。
早戻し/スロー（－） ◄◄　早送り/スロー（＋） ►►	前後のグループを選択します。

* グループをまたいだトラックの移動
現在のグループの最後のトラックが選択されているとき、►►❙ボタンを押すと次のグループの最初のトラックに移動します。

現在のトラックは、以下のように本体の表示窓に表示されます。



現在のトラック番号
現在のトラック経過時間
現在のグループ番号

MP3 ディスクで扱えない機能

- リジューム再生
- タイムサーチ
- 早送り／早戻し再生
- A-B リピート
- 3D フォニック
- MP3 ディスク再生中はスクリーンセーバー機能は働きません。

数字ボタンで2ケタまでのトラック／グループを選ぶ

MP3 で使える機能です



《トラックを選ぶ:再生中に》
《グループを選ぶ：停止中に》

1 数字ボタンを使ってトラック番号を入力する

数字ボタンの使いかた

- **1 ～ 10 を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押す。
- **11 以上を選ぶには**
  +10 ボタンを先に押してから 1 ～ 10 のボタンを押す。

  例：13 番を選ぶには [+10] ➡ [3]

  24 番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [4]

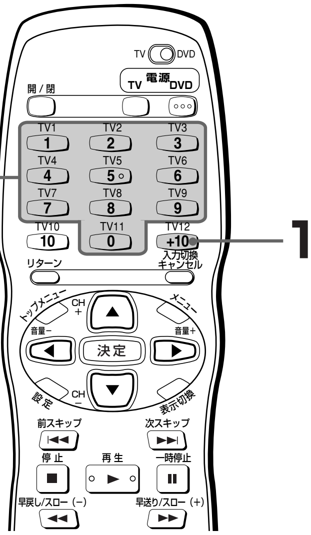
  30 番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [10]

  または [+10] ➡ [+10] ➡ [+10] ➡ [0]

入力したトラック番号から再生が始まります。

数字ボタンで3ケタのトラックを選ぶ

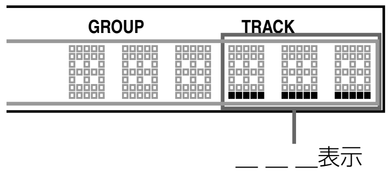
MP3 で使える機能です



《再生中に》

1 +10 ボタンを 2 秒以上押し続ける

本体の表示窓に＿ ＿ ＿が表示されます。



2 数字ボタン（1 ～ 9、0）を使ってトラック番号を入力する

例：

トラック 254 番を選ぶには

[2] ➡ [5] ➡ [4]

入力したトラック番号から再生が始まります。

お知らせ

- グループの選択は、2ケタ(99まで)までになります。

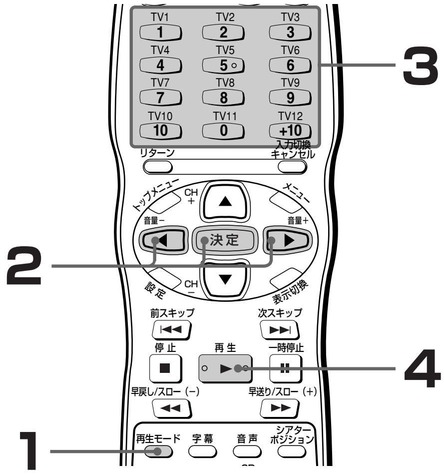
MP3ディスクの再生

グループの順番を変えて再生する

グループを好きな順番で再生する[プログラム再生]

MP3で使える機能です

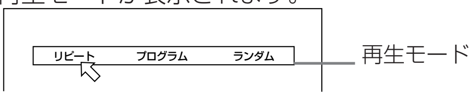
グループを好きな順番で再生することができます。



《停止中に》

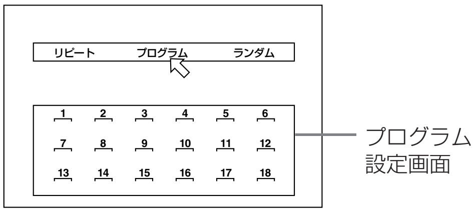
1 再生モードボタンを押す

再生モードが表示されます。



本体の表示窓に「PROGRAM」が表示されます。

2 カーソル(◀／▶)ボタンを使って[プログラム]に↖を合わせ、決定ボタンを押す

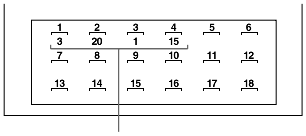


プログラム設定画面が表示されます。

3 数字ボタン(1～10、+10)を使ってグループを選ぶ

- **1～10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを押す。
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを先に押してから1～10のボタンを押す。
  例：13番を選ぶには +10 ➡ 3
  　　24番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 4
  　　30番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 10

この操作をくり返して、最大18グループまで選ぶことができます。また、同じグループを何度も選ぶこともできます。



選んだグループ番号が各プログラム番号の下に表示されます。

- **間違えたグループを選んだときは**
  入力切換／キャンセルボタンを押します。
- **プログラムの内容をすべて取り消すには**
  プログラム設定画面表示中に■停止ボタンを押します。

4 ▶再生ボタンを押す

プログラム再生が始まります。最後まで再生すると停止します。このときプログラム内容は残っていますので、もう一度▶再生ボタンを押すと同じプログラム内容で再生が始まります。

- **プログラム再生をやめるには**
  停止中に再生モードボタンを押して、プログラム設定表示の[プログラム]に↖を合わせ、決定ボタンを押します。
  次の操作をした場合もプログラムの再生モードは解除され、プログラムの内容も取り消されます。
  - 本体の⏏ボタンを押してディスクトレイを出す
  - 電源を切る

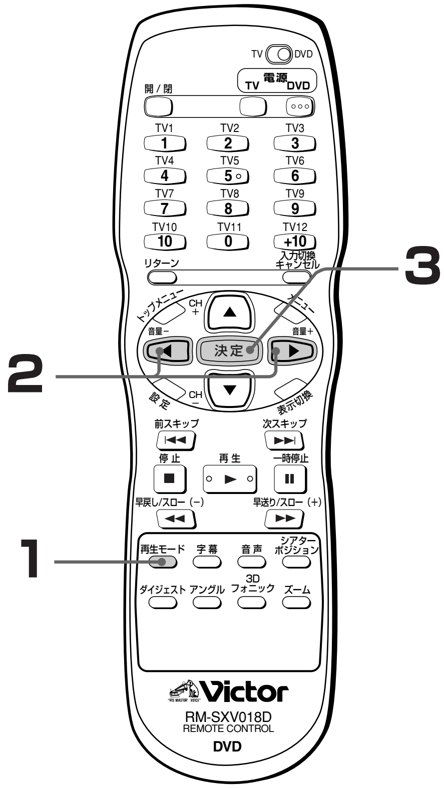
お知らせ

- グループ内のトラックをプログラム再生することはできません。
- プログラム再生中に再生モードボタンを押してプログラム設定画面を表示させると、再生中のプログラム番号が黄色く表示されます。

ランダム(無作為)な順番でグループを再生する[ランダム再生]

MP3 で使える機能です

グループをランダム(無作為)な順番で再生します。



《停止中に》

1 再生モードボタンを押す

再生モードが表示されます。



2 カーソル(◄/►)ボタンを使って[ランダム]に ⇖ を合わせる



3 決定ボタンを押す

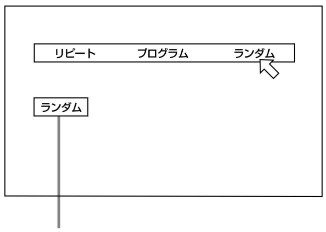
ランダム再生が始まります。すべてのグループを1回ずつ再生すると、自動的に停止します。

- ランダム再生中に■停止ボタンを押すと、ランダム再生を停止します。この状態ではランダム再生モードのままですので、►再生ボタンを押すと再びランダム再生を始めます。
- グループ内のトラックは通常の順番で再生されます。
- ランダム再生中に|◄◄/►►|ボタンを押すと、前後のトラックに移動します。

- **ランダム再生を解除するには**

  停止中に再生モードボタンを押して、再生モードを表示させます。カーソル(◄/►)ボタンを使って[ランダム]に ⇖ を合わせ、決定ボタンを押します。

  次の操作をしてもランダム再生が解除されます。
  - 本体の▲ボタンを押してディスクトレイを出す
  - 電源を切る



ここの「ランダム」表示が消えます。

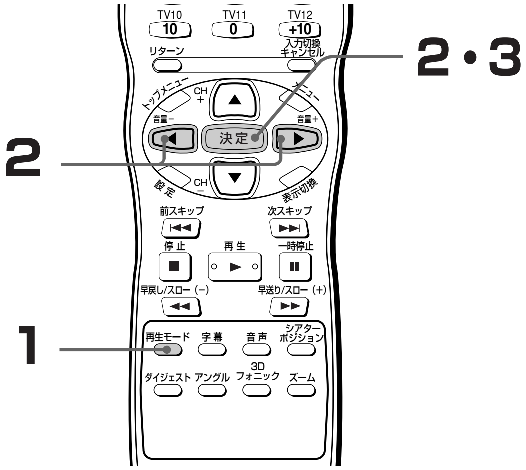
- **再生モード表示を消すには**

  再生モードボタンを押します。

グループをくり返し再生する

グループ、またはグループ全体をくり返す[リピート]

MP3 で使える機能です



《再生中に》

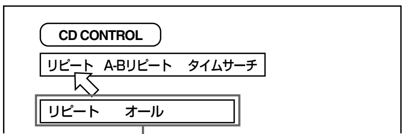
1　再生モードボタンを押す

再生モードが表示されます。

2　カーソル（◀／▶）ボタンを使って[リピート] に ↖を合わせ、決定ボタンを押す

リピートモードが表示されます。

（再生中の例）



リピートモード

3　決定ボタンを押してリピートモードを選ぶ

押すごとにリピートモードは以下のように切り換わります。

リピート　オール：グループ全体をリピート
↓
リピート 1　　　：現在のグループをリピート
↓
表示なし　　　　：リピートしない

停止中でもリピートの設定をすることができます。この場合、画面表示は再生中に操作したときと少し異なりますが、操作手順は同じです。

- **リピートの設定を解除するには**
  手順 **3** でリピートモードが表示されない状態（表示なし）を選んでください。

- **再生モード表示を消すには**
  再生モードボタンを押します。画面は消えますが、リピートの設定は残っています。

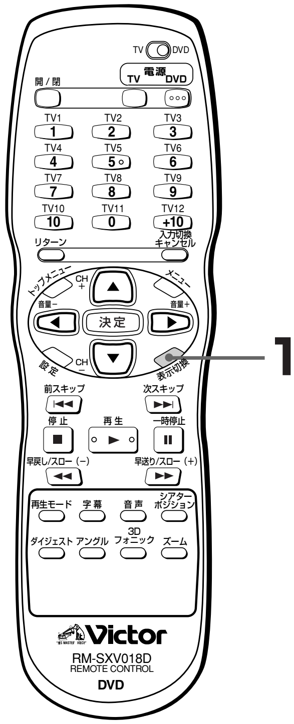
お知らせ

- リピート再生時に■停止ボタンを押すと、再生が停止しますがリピートの設定は残っています。

時間や再生についての情報を見る

現在再生中の MP3 ディスクの時間や再生についての情報を見ることができます。

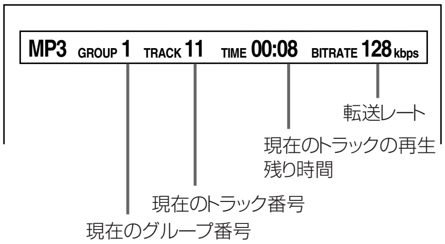
MP3 で使える機能です



《再生中に》

1　表示切換ボタンを押す

テレビ画面に現在のMP3ディスクの情報が表示されます。



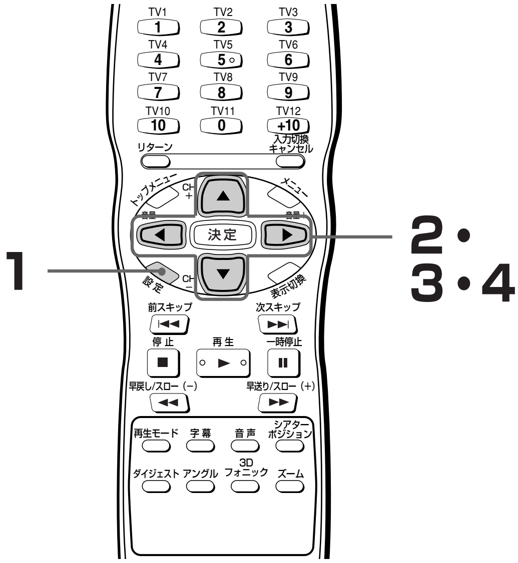
- **表示を消すには**
  表示切換ボタンを押します。

MP3ディスクの再生

初期設定を変更する

４種類の初期設定画面を使っていろいろな設定をします。

初期設定画面での基本操作



《DVD またはビデオ CD 停止中、またはディスクがセットされていないときに》

1 **設定ボタンを押す**

初期設定画面が表示されます。

2 **カーソル（◀／▶）ボタンを使って画面を選ぶ**

初期設定画面には「言語」、「音声」、「ディスプレイ」、「システム」の４画面があり、画面の上部にあるそれぞれのタグに ↖ を合わせることによって画面を切り換えます。

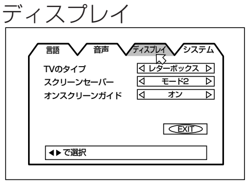
言語



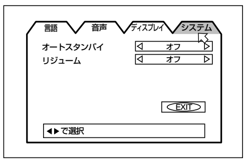
音声



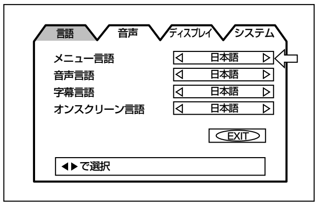
ディスプレイ



システム



3 **カーソル（▲／▼）ボタンを使って設定したい項目に ⇦ を合わせる**



4 **カーソル（◀／▶）ボタンを使って項目の設定をする**

- **通常の画面に戻すには**
  設定ボタンを押します。

それぞれの詳しい設定方法については以下の ❑ 内のページをご参照ください。

「言語」画面

メニュー言語 ………… 47
音声言語 ………… 47
字幕言語 ………… 47
オンスクリーン言語 ………… 47

「音声」画面

デジタル OUT ………… 48
ダウンミックス ………… 48
コンプレッション ………… 49

「ディスプレイ」画面

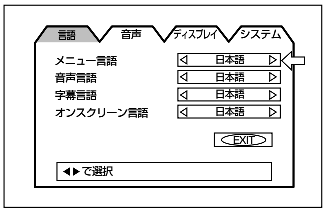
TV のタイプ ………… 49
スクリーンセーバー ………… 50
オンスクリーンガイド ………… 50

「システム」画面

オートスタンバイ ………… 50
リジューム ………… 50

「言語」画面

メニュー言語



DVDビデオには複数の言語によるメニュー画面が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの言語でメニュー表示するか決めておくことができます。

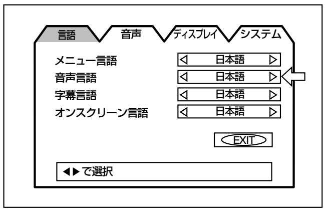
お買い上げ時は「日本語」になっています。

カーソル（▶）ボタンを押すごとに、言語は以下の順で変わります。またカーソル（◀）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにAAからZUまでの言語コード 58 ページ

※ 選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されているメニュー言語で表示されます。

音声言語



DVDビデオには複数の音声言語が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの音声言語で再生するかを決めておくことができます。

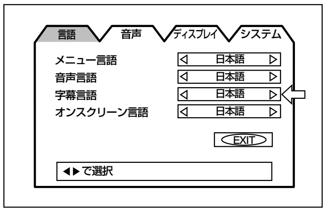
お買い上げ時は「日本語」になっています。

カーソル（▶）ボタンを押すごとに言語は以下の順で変わります。またカーソル（◀）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにAAからZUまでの言語コード 58 ページ

※ 選択した音声言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されている音声言語で再生されます。

字幕言語



外国映画などのDVDビデオには複数の言語で字幕が収録されているものがあります。このようなディスクを再生するときに、最初にどの言語を表示するか決めておくことができます。

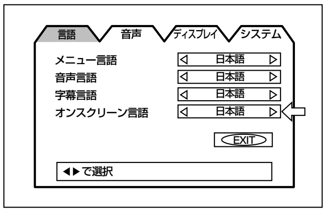
お買い上げ時は「日本語」になっています。

カーソル（▶）ボタンを押すごとに、言語は以下の順で変わります。また カーソル（◀）ボタンを押すごとに、逆の順で変わります。

英語→スペイン語→フランス語→中国語→ドイツ語→イタリア語→日本語→さらにAAからZUまでの言語コード 58 ページ

※ 選択した言語の字幕がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されている言語で字幕が表示されます。

オンスクリーン言語



テレビ画面に表示される言語画面を切り換えることができます。

お買い上げ時は「日本語」になっています。

カーソル（◀/▶）ボタンを押すごとに日本語と英語が切り換わります。

日本語
↓
ENGLISH（英語）

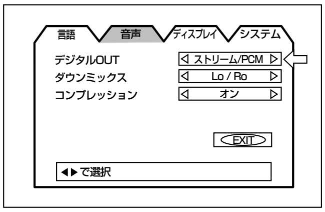
日本語	**オンスクリーン言語**	**日本語**
英語	ON SCREEN LANGUAGE	ENGLISH

いろいろな設定をする

「音声」画面

デジタルOUT

デジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定を合わせる必要があります。デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要がありません。



お買い上げ時には「ストリーム／PCM」になっています。

- **ストリーム／PCM :**
  DTS デコーダーやドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **DOLBY DIGITAL／PCM :**
  ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、またはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **PCM のみ :**
  リニアPCM のみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDデッキ、DATデッキなどと接続するとき、この設定にします。

  ディスクの種類と出力信号の関係は次の表をご覧ください。

[参考]

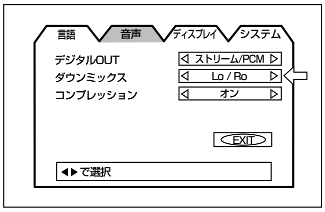
再生ディスク	出力		
	ストリーム／PCM	DOLBY DIGITAL／PCM	PCMのみ
48kHz、16ビットPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットのリニアPCM		
48kHz、20/24ビットPCMのDVDビデオ	48kHz、20／24ビットのリニアPCM		
96kHz、リニアPCMのDVDビデオ	出力しない		
DTSのDVD ビデオ	DTSビットストリーム	出力しない	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットのリニアPCM
オーディオCD	44.1kHz、16ビットのリニアPCM		
ビデオCD	44.1kHz、16ビットのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム		

お知らせ

- 本機にはDTSデコーダーが内蔵されていません。
- DTSで記録されたDVDビデオやオーディオCDを正しく再生するにはDTSデコーダーが必要です。
- DTSのオーディオCDを再生する場合、本機のアナログ音声出力端子からはノイズが出力されてスピーカーを破損する恐れがあります。したがってアナログ出力を接続しているアンプの音量を絞っておいてください。

ダウンミックス

サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオを正しく再生するために、接続する機器に合わせて音声出力端子(アナログ)から出力される信号を切り換えます。この設定は、サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオを再生するときにのみ影響します。



お買い上げ時には「Lo／Ro」になっています。

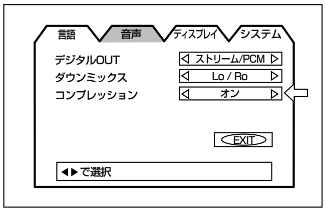
- **Lo／Ro:** 本機の音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続してステレオ音声を楽しむときに、この設定にします。また、サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオの音声をMD やカセットテープに録音するときにも、この設定にします。
- **Lt／Rt :** 本機の音声出力をサラウンドデコーダー(または内蔵アンプ)に接続してサラウンドオーディオを楽しむときにこの設定にします。

お知らせ

- 3Dフォニック機能が働いているときは、ダウンミックスは機能しません。
- ダウンミックス設定はデジタル音声出力端子からのドルビーデジタルビットストリーム信号には影響を与えません。
  ドルビーデジタルフォーマットで収録されたディスクを再生するとき、デジタル音声出力信号に対してダウンミックス効果が働くようにするには、デジタル OUT 設定で「PCM のみ」を選択してください。
- DTS 収録されたディスクを再生するとき、デジタルおよびアナログの音声出力信号にはダウンミックス効果が働きません。

コンプレッション

必要に応じてダイナミックレンジ（小さい音と大きい音の音量差）を抑えることができます。



お買い上げ時は「オン」になっています。

- **オン**　：ダイナミックレンジを抑えて再生します。小音量で映画を 楽しみたいときなど、音が聞き取りやすくなります。
- **オフ**　：DVD ビデオに収録されている通りのダイナミックレンジで再生されます。

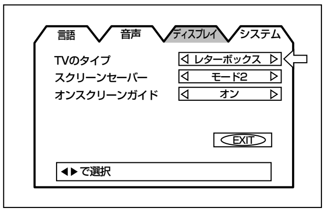
お知らせ

- コンプレッション機能は、ドルビーデジタルで収録されたディスクを再生しているときにのみ働きます。
- 3Dフォニック機能が働いているときは、コンプレッションは機能しません。

「ディスプレイ」画面

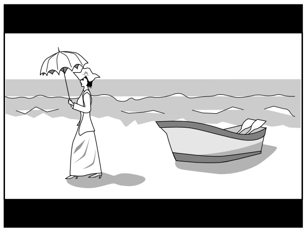
TV のタイプ

ＤＶＤ ビデオの映画ソフトの多くは、ワイドテレビ（縦横比 16 ：９の横長テレビ）用の映像が収録されています。その映像を通常のテレビ（縦横比４：３）に映すときの変換方式として「レターボックス」か「パンスキャン」の２種類があります。この２種類の変換方式がディスクに収録されているとき、どちらの変換方式で映すかを選択できます。接続したテレビがワイドテレビ（縦横比 16：９の横長テレビ）のときは「ワイド（S1）」を選択します。接続したテレビが通常のテレビ（縦横比４：３）のとき、お好みに応じて「レターボックス」か「パンスキャン」を選択します。

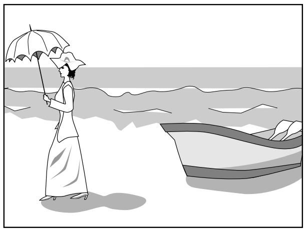


お買い上げ時は「レターボックス」になっています。

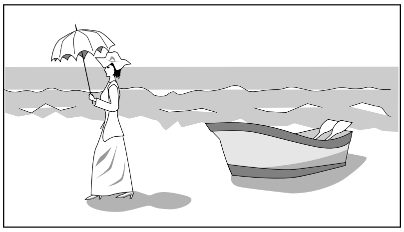
- **レターボックス**
  上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ(縦横比4 ： 3）に接続したとき、この設定にします。



- **パンスキャン**
  左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。通常のテレビ（縦横比４：３）に接続したとき、この設定にします。



- **ワイド（S1）**
  ワイドテレビ（縦横比 16：９の横長テレビ）と接続したとき、この設定にします。

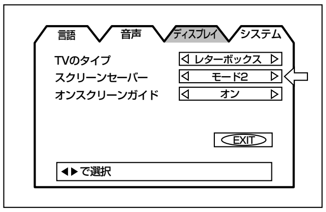


お知らせ

- ディスクがパンスキャンに対応していないときは、「パンスキャン」を選択してもレターボックスになります。

「ディスプレイ」画面（つづき）

スクリーンセーバー



長い時間、静止画を映しているとモニター画面が焼き付きを起こし、静止画の画像が残ってしまうことがあります。これを防止するための機能がスクリーンセーバーです。以下の設定が選択できます。

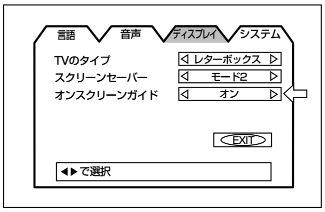
お買い上げ時は「モード２」になっています。

- **モード１**：画像が暗くなります。
- **モード２**：スクリーンセーバー画面が表示され、明るさが変化します。
- **オフ**：スクリーンセーバーは機能しません。

ご注意

- **スクリーンセーバーを「オフ」にしたときは、モニターの焼き付きには十分ご注意ください。**
- **オーディオCDのときは、スクリーンセーバーが機能しません。**

オンスクリーンガイド



本機には再生している映像に重ねてマークや文字などを表示させる機能があります。表示されたマークや文字によってディスクの収録状態を把握したり、本機の動作状態を把握することができます。またこれらの表示は出さないようにすることもできます。

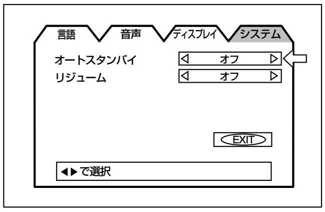
お買い上げ時は「オン」になっています。

- **オン**：マークや文字が表示されます。
- **オフ**：マークや文字が表示されません。

例： など

「システム」画面

オートスタンバイ

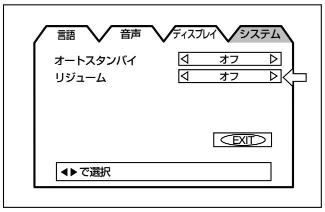


一定時間、本機の停止状態が続いた場合、自動的に本機を電源「切（スタンバイ状態）」にすることができます。

お買い上げ時は「オフ」になっています。

- **60**：60分後に電源「切」になります。
- **30**：30分後に電源「切」になります。
- **オフ**：オートスタンバイ機能は働きません。

リジューム



リジューム機能（☞ 21 ページ）のオン／オフを選びます。

お買い上げ時は「オフ」になっています。

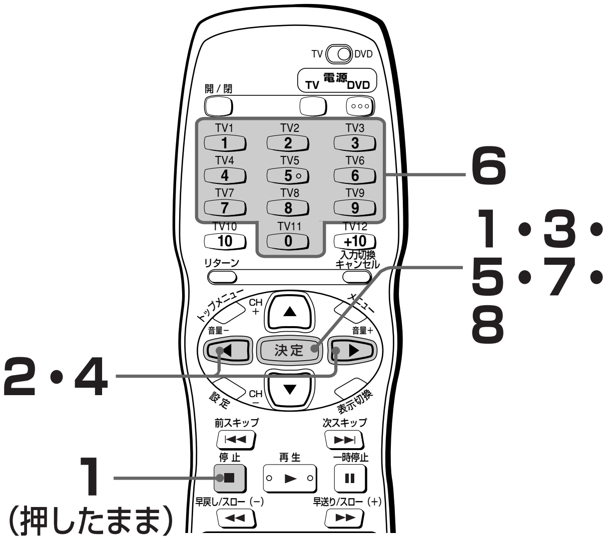
- **オン**：停止中、または電源「切」のときに▶再生ボタンを押すと、記憶している位置から再生を始めます。
- **オフ**：停止中、または電源「切」のときに▶再生ボタンを押すと、ディスクの頭から再生を始めます。

過激なシーンをカットする[パレンタルロック]

たとえば過激なシーンを含むDVD ビデオを再生する場合に過激なシーンだけをカットしたり別のシーンに差し換えることができます。これを「パレンタルロック」といいます。
パレンタルロックは、パレンタルロックが設定されているディスクに対してのみ有効です。

パレンタルロックを設定する

DVDビデオ で使える機能です



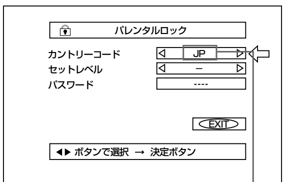
《DVD 停止中、またはディスクが入っていないときに》

1 ■停止ボタンを押したまま決定ボタンを押す

パレンタルロック画面が表示されます。
⇦が[カントリーコード]を指しています。

2 カーソル(◀／▶)ボタンを使ってカントリーコードを選ぶ

カントリーコード一覧 ☞ 56～57 ページ



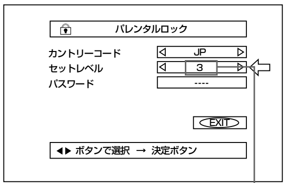
カントリーコード 例：JP (Japan)

3 決定ボタンを押す

⇦が[セットレベル]に移動します。

4 カーソル(◀/▶)ボタンを使ってセットレベルを選ぶ

レベル 1 ～レベル 8 の中から選びます。
レベル — が視聴制限を全くしない設定です。
設定したレベル値以上のレベルのDVDビデオが再生できなくなります。したがってレベル数値が小さいほど、制限が厳しくなります。

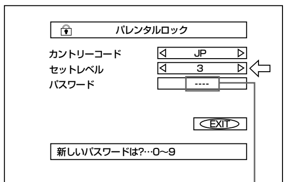


レベルの選択

5 決定ボタンを押す

⇦が[パスワード]に移動します。

6 数字ボタン(1 ～ 9、0)を使って任意のパスワード(4 ケタの数字)を入力する



パスワードの入力

- **パスワードの数字入力を間違えたときは**
  決定ボタンを押す前に入力し直します。

7 決定ボタンを押す

パレンタルロックのレベルとパスワードが設定されます。
⇦が[EXIT]に移動します。

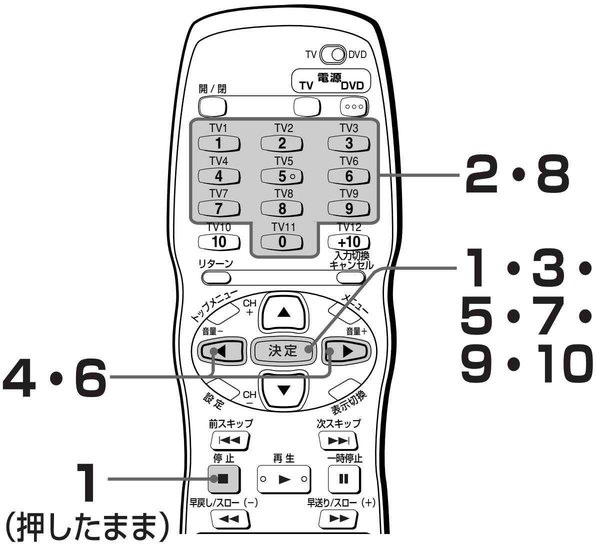
8 もう一度決定ボタンを押す

オープニング画面に戻って設定が完了します。

パレンタルロックを変更する

DVDビデオで使える機能です

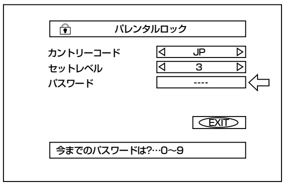
パレンタルロックの設定を変更することができます。



《DVD停止中、またはディスクが入っていないときに》

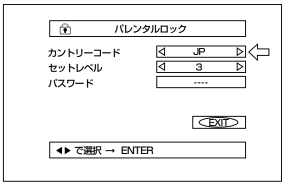
1 ■停止ボタンを押したまま決定ボタンを押す

パレンタルロック画面が表示されます。
⇦が[パスワード]を指しています。



2 数字ボタン（1～9、0）を使って今までのパスワードを入力する

3 決定ボタンを押す

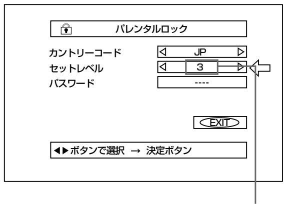


正しいパスワードを入力すると⇦が[カントリーコード]に移動します。
間違って入力した場合は、「違います。やり直してください」と表示されますのでもう一度入力してください。

4 カーソル（◀／▶）ボタンを使ってカントリーコードを変更する

5 決定ボタンを押す

⇦が[セットレベル]に移動します。
カントリーコードを変更した場合、セットレベルも設定し直してください。



レベルの選択

6 カーソル（◀／▶）ボタンを使ってセットレベルを変更する

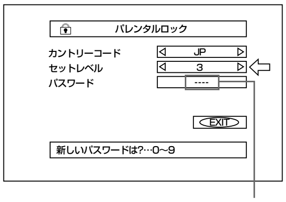
7 決定ボタンを押す

⇦が[パスワード]に移動します。

お知らせ

- 今までのパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。今までのパスワードが無効になり、新しくパスワードを再設定できるようになります。
- パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき⇦が[EXIT]に移動しますので、決定ボタンを押してもう一度最初からやり直してください。

8　数字ボタン（1～9、0）を使って新しいパスワードを入力する



パスワードの入力

9　決定ボタンを押す

⇦が[EXIT]に移動します。
ここで入力したパスワードが新しいパスワードになります。パスワードを変更したくない場合は同じパスワードを入力してください。
カントリーコードやセットレベルを変更する場合も、必ずこの操作（パスワード入力→決定ボタン）を行なってください。この操作をやらないと、カントリーコードやセットレベルが変更されません。

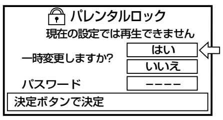
10　もう一度決定ボタンを押す

オープニング画面に戻って設定が完了します。

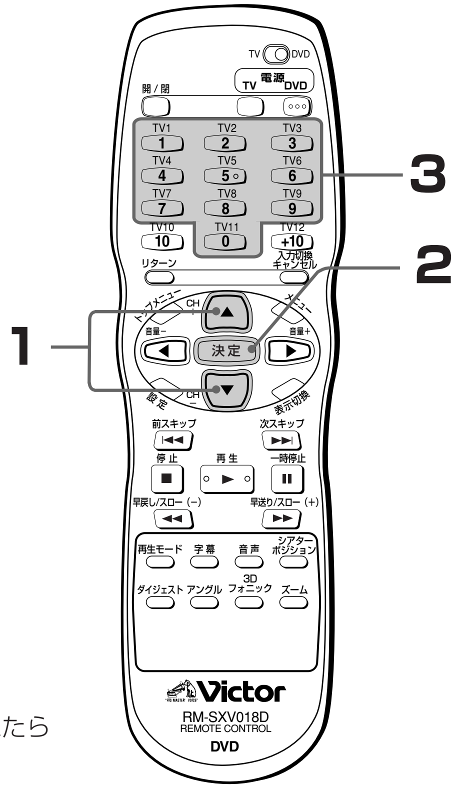
パレンタルロックを一時解除する

DVDビデオ で使える機能です

パレンタルロックを厳しく設定しているときには、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除できる画面が表示されます。



が表示されたら



1　カーソル（▲／▼）ボタンを使って「はい」に⇦を合わせる

2　決定ボタンを押す

「はい」を選ぶと、⇦が［パスワード］に移動します。
「いいえ」を選んだときは、このディスクを再生することはできません。

3　設定されているパスワードを数字ボタン（1～9、0）を使って入力する

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されますので、もう一度パスワードを入力してください。

正しいパスワードを入力するとパレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

お知らせ

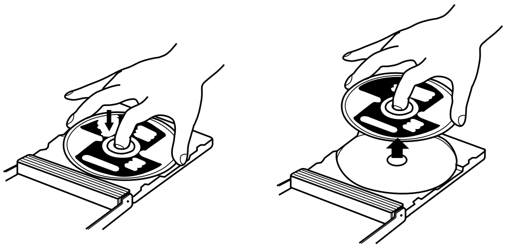
- パスワードの入力を３回間違えると、⇦は［いいえ］に移動し、カーソル（▲／▼）ボタンは動かなくなります。決定ボタンを押してパレンタルロック画面から抜け、ディスクを取り出してください。

ディスクの取り扱いとお手入れ

取り扱い時の注意

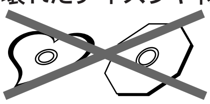
ディスクを取り扱う際、以下のようなことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。
- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面（文字の書かれていない面）を汚したり、ラベル面（文字の書かれている面）に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。



ご注意

- **壊れたディスクや特殊形状のディスクは入れないでください。**



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク（シェイプCDなど）は本機に入れないでください。故障の原因となることがあります。

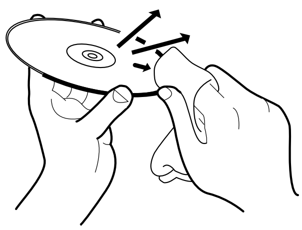
ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

- **直射日光の当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**
- **暖房器のそばや車の中など**

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。



- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

ご参考に

カントリーコード一覧

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧表です。

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile

CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea

GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia

LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama

PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand

TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

言語コード一覧

字幕や音声の言語は、言語コードで表示されることがあります。以下に言語コードと言語名の対応表を示します。

AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語

IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア 語
KN	カンナダ語
KO	韓国（朝鮮）語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ（マレー）語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	（アフォン）オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ - ロマン語

RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア 語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トゥィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理に出す前に以下の点をお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源			
電源が入らない。	電源がコンセントから抜けている。	電源プラグをしっかりと差し込む。	15
突然電源が切れた。	オートスタンバイが「60」または「30」に設定されている。	初期設定画面のシステム設定でオートスタンバイを「オフ」にする。	50
動作			
リモコンが働かない。	本体と離れすぎている。 本体のほうに向いていない。	リモコン受光部に向けて約5m以内で障害物を避けて送信する。	16
	電池が消耗している。	電池を交換する。	16
	電池の極性（＋／－）が違う。	電池を正しく入れ直す。	16
	リモコン受光部に直射日光が当たっている。	直射日光をさえぎる。	16
再生できない。	NTSC方式以外のディスクが入っている。 本機とディスクのリージョン番号が異なっている。	ディスクを取り換える。	12
正しく動作しない。	雷や電子ノイズで誤動作している。	いったん電源を切り、雷がおさまるのを待ってから電源を入れ直す。	—
	暖房をはじめた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって製品内部に水滴がついている。	電源を「入」にしたまま1〜2時間待つ。	6
映像			
映像が出ない。	ビデオコードが正しく接続されていない。	ビデオコードを正しく接続する。	13〜15
	テレビの入力選択が間違っている。	正しく選択する。	14
映像が乱れる／音声がひずむ。	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングする。	55
	本機とテレビの間にビデオデッキを接続している。	本機とテレビを直接接続する。	13
ほかのテレビを接続したとき、そのテレビの映像の端が欠けている。	画面サイズの設定が間違っている。	初期設定の「TVのタイプ」の設定を正しくする。	49
	テレビ側の画面サイズ設定が適切でない。	テレビ側の画面サイズ設定を正しく合わせる。	—
D1端子を使っているときに映像が青い状態で出る。	映像出力設定でD1映像出力を選択していない。	映像出力設定を「D1」に切り換える。	14
S1端子を使っているときに映像が出ない。	映像出力設定でS1映像出力を選択して	映像出力設定を「S1」に切り換える。	13

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音声			
音がでない。	オーディオコードを正しく接続していない。	オーディオコードを正しく接続する。	13～15
	アンプの入力選択／操作が間違っている。	正しく選択／操作する。	—
96kHz、リニアPCMオーディオで記録されたDVDビデオを再生すると音が出ない。	本機のオーディオ出力としてデジタル音声出力端子を使っている。	このタイプのDVDビデオ再生時はアナログ音声出力端子を使う（デジタル音声出力端子からはオーディオが出力されない）。	15 48
MP3ディスクの再生			
再生できない。	MP3ディスクがパケットライト方式で作成されている。	パケットライト方式で作成されたMP3ディスクは再生できません。	40
MP3ディスク内に再生できないファイル（トラック）がある。	MP3以外の形式のファイル（トラック）が含まれている。	MP3以外の形式のファイル（トラック）は再生できません。	40
MP3ディスクに記載されている曲順通りに再生されない。	本機はMP3ディスクのグループ／トラックをアルファベット順に再生するため、市販のMP3ディスクを再生した場合、ディスクに記載されている曲順とは異なった曲順で再生されることがあります。	———	40
扱えない機能がある。	MP3ディスクでは、次の機能を行うことはできません。 ・リジューム再生 ・タイムサーチ ・早送り／早戻し ・A-Bリピート ・3Dフォニック ・スクリーンセーバー	———	40

以上の項目に当てはまらないときは、本機以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。なお、以上の項目をチェックしても直らないときは、「保証とアフターサービス」（☞ 61 ページ）の項をお読みの上、修理を依頼してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（62 63ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

59ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	DVDプレーヤー
型　名	XV-Q10-S/B/N
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検などの作業にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お願い

● 本機の故障、または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)-638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東 海・北 陸				
愛 知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三 河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐 阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三 重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富 山	富 山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石 川	金 沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福 井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近 畿				
滋 賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京 都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京 都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京 都 北 部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈 良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大 阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大 阪 南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵 庫 中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神 戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵 庫 西 部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中 国				
岡 山	岡 山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広 島	広 島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山 口	山 口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島 根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥 取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四 国				
香 川	高 松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳 島	徳 島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高 知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛 媛	松 山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九 州・沖 縄				
福 岡	福 岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長 崎	長 崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大 分	大分S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊 本	熊 本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮 崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖 縄	沖 縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

1201

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

用語解説

英字・数字

ch(チャンネル)
出力される音声の位置や種類を表します。
ドルビーデジタル5.1chの場合を例にとると、フロント(L(左)／R（右))、リア(L／R)、センター及びLFE（サブウーハー）の６つありますが、LFE（サブウーハー）は出力される音声全体に占める低音の割合から、1chと数えず0.1chで数えられます。

DTS (Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ5.1ch です。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのある高S／N 感の再生が可能です。

D端子
映像信号（Y、C_B、C_R）と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を一つのコネクタで接続できる端子です。
映像フォーマットの対応度に応じていくつかの規格があり、本機はD1 端子を備え、D1 ～D 4 端子付きのデジタルテレビに接続することができます。

MPEG （Moving Picture Experts Group）
動画情報圧縮フォーマットの一つで、音声信号も含まれます。いくつかの規格があり、ビデオCDではMPEG-1、DVDビデオではMPEG-2が用いられています。

MP3（MPEG- 1 Audio Layer- 3）
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1 ／1 0 に圧縮することができるフォーマットです。このMP3 フォーマットで記録したCD- R／CD- RW ディスクを、本取扱説明書では「MP3 ディスク」と呼んでいます。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式（PAL あるいはSECAM ）を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

S映像信号
映像信号形式の一つで、信号を明るさの要素（輝度:Y）と色(C)の要素に分けて伝送するため、鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これに、テレビ側でフルモード(縦長の映像)の自動判別信号を加えたのがS1 映像信号です。

あ

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横：縦の比は４ ：３ 、ワイドテレビおよびハイビジョンテレビの横：縦は16 ：9 の比率です。

インターレース方式
従来のテレビ／ビデオで使われている映像方式です。動画は１秒間に約30枚の連続した画面からできていますが、一つの画面(フレーム)はさらに2分割されたうえ、互い違いに「間引き」されています。この分割された画面(フィールド)を交互に送り出すことで、各々の画面を補い、一つの画面を作っています。

か

仮想グループ
MP3ディスク内でどのグループにも属さないトラックがある場合、本機はこのトラックを仮想グループに属しているとみなします。

カーソル
一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

グループ
MP3ディスクの構成単位。CD-R ／ RWのフォルダやディレクトリと同じです。市販のMP3ディスクでは、カテゴリやジャンルなどで、いくつかの「グループ」に区切られており、各グループの中に複数のトラック(曲)があります。

コンプレッション
大きな音を押さえ気味にし、小さな音を持ち上げる機能です。大音量シーンでテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聴きとることができます。

コンポジット映像信号
映像信号形式の一つで、従来から使われています。信号の明るさの要素（輝度）と色の要素を周波数多重技術で複合し、これに色の基準となるバースト信号、同期信号を加えたものを一つの信号線で伝送します。

コンポーネント映像信号
ビデオ信号方式の一つで、光の3 原色の信号（G／B／R）や、それを規準により効率よく変換された映像信号（色差信号:Y／C_B／C_R）をさします。各々別々の信号線で伝送するため、高画質で伝送することができます。本機では、別売りケーブルでD1 端子と接続することができます。

さ

サラウンド
視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数
アナログ音声をデジタル信号に変換する場合、もとになるアナログ信号を、１秒間に何回という割合で細かく区切ります。この過程を「サンプリング」といい、サンプリングに使われる周波数を指します。

た

ダイナミックレンジ
ディスクに収録されている最大音量と最小音量の差をいいます。

タイトル
DVD ビデオの構成単位で、カテゴリやジャンル別での大きなくくりを指します。一般にDVD ビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダウンミックス
サラウンド方式（3 チャンネル以上）で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ 2 チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター
DVD ビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり（チャプター）で区切った単位です。

デコード
圧縮されたデジタル音声信号を、アナログ音声信号に戻すこと。一般的には、ある規則に合わせて変換された信号を、もとの信号に戻す過程や操作を指します。

転送レート
1 秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のこと。DVD ビデオでは可変転送レート方式を採用し、信号を効率よく記録しています。

トラック
CDやMP3ディスクの記録単位で、主に一つの楽曲を指します。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つ。最大フロント3ch 、リア2ch およびLEF（サブウーハー）0.1ch の5.1chまで対応しています。

ドルビーサラウンド
サラウンド方式の一つ。フロント･リア計4ch 分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のデコーダーを通し再生時にはもとの4ch に戻します。2ch 記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。本機は、デジタル音声出力で対応していますが、アナログ出力音声出力の場合は、2ch ダウンミックス出力のみに対応しています。

は

パケット方式
CD-R／CD-RWの書き込み方式の一つ。一つのトラックをさらに細かなデータの集まり（パケット）に分けて書き込みます。本機は、パケット方式には対応していません。

パレンタルロック
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVD ビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

パンスキャン
映画などの横長の画像をアスペクト比4：3のテレビに映し出す方法の一つ。横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

ビットストリーム
ドルビーデジタルなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のこと。一般的には各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータを指します。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC 対応ビデオCD に記録されているメニュ－画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

ま

メニュー
DVDビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ら

リニアPCM 音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式。

レターボックス
映画などの横長の画像をアスペクト比4：3のテレビに欠けることなく映し出す方法。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。画面が文字通りレターボックス（郵便受け）に似ていることから名付けられています。

リジューム再生
一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を地域別に分け、これに番号をつけ識別します。ディスクに設定されたリージョン番号と、DVD プレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

用語索引

ボタンについては、8～10 ページの「各部の名前」をご覧ください。

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVD ビデオ、ビデオ CD、オーディオ CD
映像信号方式	EIAJ 標準、NTSC カラーテレビジョン方式
電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	電源入時 12 W 切（待機）時 1.3 W
質量	2.0 kg
外形寸法	(幅) 230 mm × (高さ) 66.5 mm × (奥行) 298.7 mm

ビデオ出力

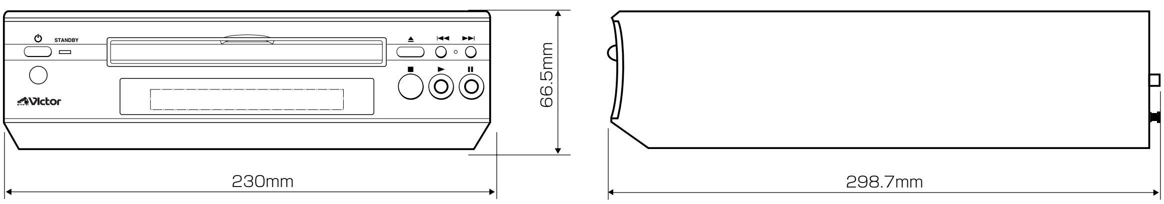
映像出力	1.0 V(p-p) / 75 Ω
S1 映像出力	Y 出力　：1.0 V(p-p) / 75 Ω C 出力　：0.286 V(p-p) / 75 Ω
D1 映像出力	Y 出力　：1.0 V(p-p) / 75 Ω CB/CR 出力 ：0.7 V(p-p) / 75 Ω
水平解像度	500 本以上

オーディオ出力

音声出力 （アナログ）	2.0 Vrms / 10 k Ω
デジタル音声出力	光　：－21dBm ～－ 15 dBm (ピーク)

オーディオ特性

周波数特性	CD (サンプリング周波数 44.1 kHz) ：2 Hz ～ 20 kHz DVD (サンプリング周波数 48 kHz) ：2 Hz ～ 22 kHz DVD (サンプリング周波数 96 kHz) ：2 Hz ～ 44 kHz
ダイナミックレンジ	16 bit　：98 dB 以上 20 bit/24 bit ：106 dB 以上 (EIAJ)
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.002% W.PEAK）以下 (EIAJ)
全高調波ひずみ率	0.002% 以下 (EIAJ)



- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- EIAJ は、日本電子機械工業会規格の測定方法による数値です。

ご参考に

別売りアクセサリー

・オーディオ／ビデオコード	：VX-35G　（モノラル音声テレビとの接続用）
	：VX-315E（モノラル音声テレビとの接続用）
・オーディオコード	：CN-510E
・光デジタルケーブル	：XN-110SA
・S ビデオコード	：VC-S110E
・コンポーネントビデオコード	：VX-DS120（D プラグ～D プラグ）
	：VX-DS220（D プラグ～ピンプラグ× 3）

別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
62 ～ 63 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	東京　☎ (03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪　☎ (06) 6765-4161 FAX(06)6765-4891 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット

〒242-8514　神奈川県大和市下鶴間1644　☎ 046-278-1743

© 2002 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

0302KTYDTEJSC